

# 軽井沢オープンドアスクール(仮称)設置準備会議委員名簿

敬称略 (R7.4.1現在)

	氏 名	所属・役職	備 考		9/22会議 (第4回)
1	荒井 英治郎	信州大学教職支援センター准教授	学識経験者 及び 支援者	座長	出席
2	本田 秀夫	信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部部長			欠席
3	三和 秀平	信州大学学術研究院教育学系准教授		副座長	出席
4	木村 泰子	大阪市立大空小学校初代校長			出席
5	西郷 孝彦	世田谷区立桜丘中学校元校長			出席
6	福本 理恵	SPACE CEO			欠席
7	飯澤 幸世	日本財団公益事業部子ども支援チーム			出席
8	今村 久美	NPO法人カタリバ代表理事			出席
9	西野 博之	NPO法人フリースペースたまりば理事長			出席
10	岡田 敏之	基礎教育保障学会会長 京都市立洛友中学(併設校)元学校長			出席
11	藤木 拓道	義務教育課長	県教育委員会		代理 (唐沢)
12	一色 保典	学びの改革支援課長			代理 (田中)
13	向井 健太郎	心の支援課長			代理 (臼田)
14	本城 慎之介	学校法人軽井沢風越学園理事長	町関係者		欠席
15	上原 浩子	長野県軽井沢高等学校長			出席
16	山崎 伸一	軽井沢町立軽井沢中学校長			出席
17	久保 貴史	軽井沢町立軽井沢西部小学校長			出席
18	諸星 ひとみ	NPO法人軽井沢教育ネットワークこんぺいとうの会代表			出席
19	岩崎 ひとみ	NPO法人国際多文化教育推進協会理事長			出席

(事務局)

宮本 隆	軽井沢町教育委員会教育長
内堀 繁利	軽井沢町教育委員会教育推進アドバイザー
岩井 和成	軽井沢町教育委員会こども教育課長
金井 章宏	軽井沢町教育委員会こども教育課課長補佐兼学校教育係長
金井 拓也	軽井沢町教育委員会こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長
根津 彩香	軽井沢町教育委員会こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係
小林 真理	軽井沢町教育委員会こども教育課スクールサポーター
桐野 耕介	軽井沢町教育委員会こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係
堀本 淳子	軽井沢町教育委員会こども教育課教育支援センター職員

# 【資料 1】

## 第 3 回 軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議まとめ

日時	令和 7 年（2025） 7 月 14 日（月） 午後 3 時から午後 5 時 20 分まで			
会場	軽井沢発地市庭 イベントスペース			
出席 （敬称略） ◎座長 ○副座長）	◎荒井 英治郎      ○三和 秀平      木村 泰子      西郷 孝彦 福本 理恵      飯澤 幸世      西野 博之      岡田 敏之 唐沢 浩一（代理） 臼田 瑞希（代理） 本城 慎之介      上原 浩子      山崎 伸一      久保 貴史 諸星 ひとみ      岩崎 ひとみ			
欠席（敬称略）	本田 秀夫      今村 久美      一色 保典		傍聴者	18 人
事務局	宮本 隆 教育長      内堀 繁利 教育推進アドバイザー      岩井 和成 課長 金井 章宏 課長補佐      金井 拓也 係長 学校教育係 職員 小林 真理      堀本 淳子 軽井沢高校・教育魅力化推進係 職員 根津 彩香      桐野 耕介			
会議事項	（1）第 2 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議のまとめ （2）「私たちの学校」をつくるアンケートについて （3）「私たちの学校」をつくるワークショップについて （4）夜間中学について （5）設置場所について （6）その他			
当日資料	次第、第 2 回設置準備会議まとめ、「私たちの学校」をつくるアンケートについて、 「私たちの学校」をつくるアンケート アンケート結果、 「私たちの学校」をつくるワークショップについて、ワークショップ説明資料、 ワークショップ結果報告、 軽井沢オープンドアスクール（仮称）における「夜間中学」設置に向けた広報について、 『夜間中学』設置に向けたニーズ調査に向けて（案）」についての意見・質問と事務局対応、 夜間中学広報チラシ（日本語・英語）、軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置場所について			
主な内容（意見、質問等）				
会議次第について 1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 座長挨拶 4. 議題 （1）第 2 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議のまとめ 【意見・質問等】なし （2）「私たちの学校」をつくるアンケートについて 【意見】・学習のあり方を見直す必要がある。 ・先生がみんなの前で怒るということは、教員の目線だと当たり前になっていたが、子どもから見るとすごく嫌なものであることが改めて分かった。 ・指導は一瞬で暴力に変わるということを教員が自覚する必要がある。 教員が指導をやめ、変わることが大切。 ・居場所づくりをする際に子どもから出てくる意見と同じような結果である。 今後、どのようにこのアンケートを（既存の）学校でも生かしていくか難しいところ。 ・不登校保護者の会等にも協力を仰ぎ、学校に行きづらい子の本音が聞けるようにアンケートをとっていただきたい。 ・服装等のルールについて見直しも行っているが、様々な考え方の子どもがいるので慎重に考える必要がある。簡素化も必要だが、あまり自由にすぎてもという懸念がある。 ・ルールも校則もゼロベースで、子どもたちとつくっていくのがよいと考える。 ・みんなの前で叱るというのは、大人同士でやればパワハラと問題になる行為。 大人が変わる必要がある。 ・校則は子どもを管理するために作られたもの。子どもを信用することも大切。 ・実際に校則がなくても困らない。子どもを信頼する覚悟が必要となる。 また、急に校則をゼロにするとショックを受ける生徒もいるので、想定する必要もある。 ・教員が「指導」をやめてはどうか。指導ではなく支援していくことが必要。 【質問】・実際に不登校となっている児童生徒の回答はどのくらいあるのか。				

(3) 「私たちの学校」をつくるワークショップについて

【意見】・今回出された意見について、教員でも討議しつつ子どもたちや保護者へフィードバックしながら、「私たちの学校」をつくっていければと思う。

- ・子どもの参加が少なかった。子どもが意見を言いやすい配慮が必要。
- ・子どもの意見と保護者の意見とは、必ずしも一致しない。
- ・こういったワークショップにぜひ高校生も参加させてほしい。
- ・子どもが参加しやすい環境、心理的安全性の確保された環境を整えることが大切。
- ・生きることの生きにくさの裏には発達特性や家庭の状況がある。特性は取り除けないが、環境を整えることはできる。
- ・環境を整えるうえで、机や椅子、照明などの細かな設定が大事。先生という存在も環境の一つ。そういったことをひとつひとつ丁寧に設定していくことが必要。
- ・学校の教員の意識を変えるための学校教員向けワークショップが何より大切ではないか。教師集団の意識を変えなければ、通り一遍の形で開校して終わってしまう。
- ・メタバース空間などを活用したワークショップも面白いのではないか。
- ・オープנקエストションでの質問に答えるのは大人でも難しい。心理的安全性の高い場所で、選択肢等の方法を用いることで頭の整理ができるのではないか。参加した子どもが安心感を持ち帰れる場の設計をお願いしたい。
- ・同じ人でも持っている感覚や特性は違う。その前提で学校づくりをすることが大切。
- ・国際多文化教育でも、お互いの違いに対する気づきからすべてが始まる。
- ・ワークショップの会場が学校のように感じる。もっと落ち着ける空間づくりが必要。
- ・何回もやらなければ本音は聞けないのではないか。

【質問】・軽井沢町にフリースクール等はあるのか。

(4) 夜間中学について

【意見】・設問項目について、プルダウンでの回答を追加いただきたい。

- ・「中学校にあまり通えていなかったため、中学校生活をやり直したいから」という文言を追加いただきたい。
- ・「歩いて通えない場合」の設問について、「場所による」という文言を追加いただきたい。
- ・夜間中学の対象者を掘り起こすのは本当に難しいため、広報だけではなくイベントなども開催いただきたい。
- ・夜間中学の対象者には、読み書きに困難がある人も考えられるため、箇条書きでの対応や、イベントでの読み上げサポートを実施してはどうか。
- ・チラシに、現役中学生も通うことができることの分かる文言を追加いただきたい。
- ・チラシの登校時間で、16時登校では働いている方が通えないため、17時半登校等にしてはどうか。
- ・転籍をする前に、体験期間を設け、体験期間は教育支援センター的利用としてはどうか。

【質問】・国籍を聞くのはタブーな場合もあるが、本アンケートではタブーとならないか。

- ・国籍については、国籍を知りたいのか、母国語を知りたいのか。

(5) 設置場所について

○事務局より、設置場所の検討項目について説明。

【意見】・設置形態等について、子どもへ知らせる必要はない。

- ・学校の名前を検討すれば、子どもたちへの印象は変わる。
- ・学校の名前は児童生徒から募集してはいかがか。
- ・条件を伺ったが、軽井沢高校も条件を満たす可能性が高いため、検討いただきたい。
- ・学校の設置場所について、チャイムの有無や知っている先輩がいるなどという点も検討が必要。子どもが、どうすれば通いやすいのかということを中心に検討が必要。

【質問】・分校型での設置を想定している理由は何か。

(6) その他

【意見】アンケートについて、比較しやすいように、パーセンテージを入れていただきたい。

5. その他

○事務局からの事務説明。

- ・今回は9月22日、軽井沢町中央公民館にて、フォーラム&ワークショップと同日開催となる。

令和 7 年（2025 年）9 月 22 日  
第 4 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 資料

## 「私たちの学校」をつくるアンケートについて（保護者対象）

### 1 趣旨

今後の軽井沢のよりよい学校づくりに活かすために、町内の小中学生や保護者にアンケートを実施し、軽井沢町の学校（東部小学校、中部小学校、西部小学校、軽井沢中学校）や今後設置を予定している軽井沢オープンドアスクール（仮称）をより魅力的な学びの場とする。

### 2 アンケートの内容

リード文：軽井沢町では、お子さまもまわりのお子さまも、自分らしく学び合うことができ、自分たちが望む学校を自分たちでつくっていける「私たちの学校」を目指していきたいと考えています。  
そのために、保護者のみなさまが思っていることや考えていることをお聞かせください。

### 3 方法

○tetoru で配信し、リンク先の Google フォームより回答。

### 4 期間

○6 月 16 日（月）から 6 月 23 日（月）

### 5 対象

○東部小学校、中部小学校、西部小学校全校児童（1,003 人）の保護者

（東部小学校 128 人 中部小学校 520 人 西部小学校 355 人）

○軽井沢中学校 全校生徒（458 人）の保護者

（1 学年 162 人 2 学年 137 人 3 学年 159 人）

（※保護者の人数と児童生徒の人数は厳密には一致しないが、一家庭に複数の児童生徒がいる場合はそれぞれの児童生徒ごとの回答を依頼しているため、上記の人数は児童生徒数で計算）

6 回答者数

○小学校保護者 242 人

(東部小学校 43 人 中部小学校 120 人 西部小学校 79 人)

○中学校保護者 111 人

(1 学年 54 人 2 学年 32 人 3 学年 25 人)

7 回収率

○小学校児童 24%

(東部小学校 34% 中部小学校 23% 西部小学校 22%)

○中学校生徒 24%

(1 学年 33% 2 学年 23% 3 学年 16%)

8 留意事項

○重複する内容の集約や個人名、誤字脱字以外は、保護者の回答原文のまま記載。重複する内容の集約も、原文の意味を損なわないよう配慮して記載。

○問 5 と問 6 の意見の集約には、「AI テキストマイニング」を利用。

出現頻度が高いほど文字が大きく表示される。

単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表す。

9 集計結果 (【資料 2 - 2】 ~ 【資料 2 - 3】)

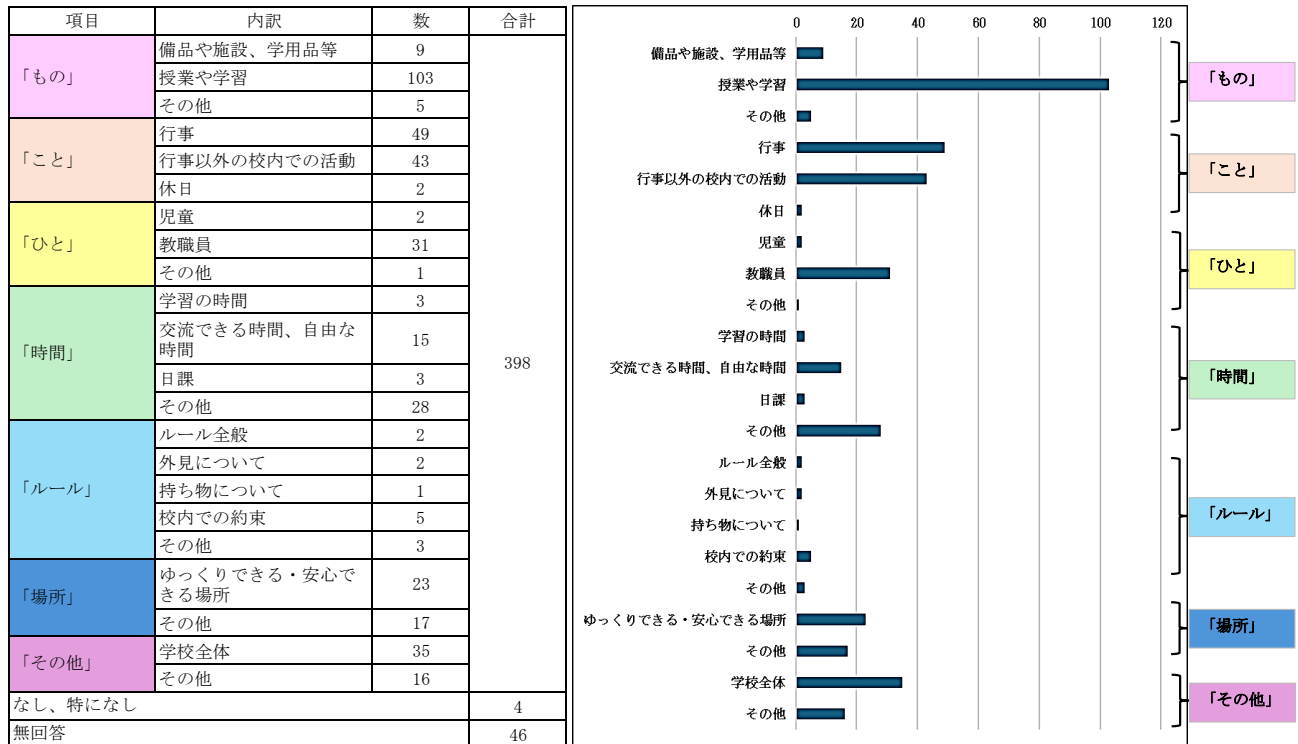
# 【資料 2－2】

軽井沢東部小学校・軽井沢中部小学校・軽井沢西部小学校 保護者全体（回答者：242人 回答率：24%）

問3 学校に今あるものや、今はないけど今後あったらいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

## 【回答の傾向】

「もの」	回答に占める割合が最も大きく、なかでも自分のペースで学べる授業についての要望が最も多い。
「こと」	行事のうち、運動会や遠足についての要望が多くを占めている。
「ひと」	受容・傾聴してくれる教職員や、教職員の配置についての要望が半数以上を占めている。
「時間」	交流の時間や、時間のゆとりについての要望が半数近くを占めている。
「ルール」	校内での約束のうち、登下校についての要望が一定数見られる。
「場所」	ゆっくりできる・安心できる居場所についての要望が半数以上を占めている。
「その他」	風通しの良い学校づくりについての要望が最も多くを占めている。



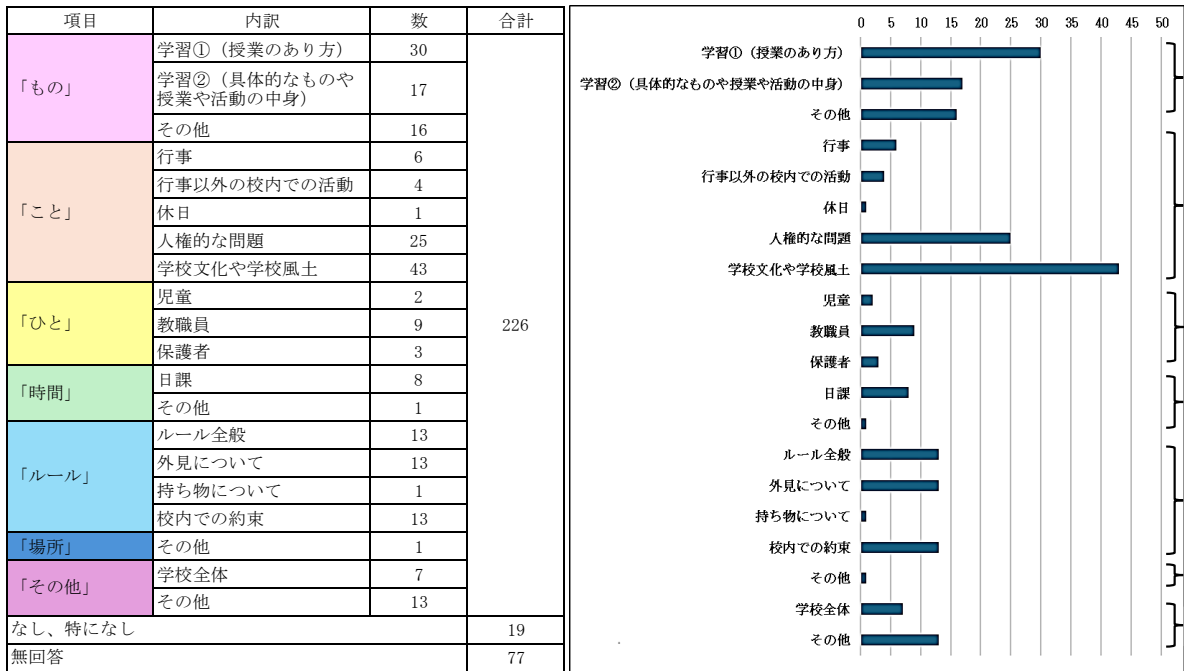
項目	内訳	意見
「もの」	備品や施設、学用品等	施設関係（2人）（涼しい図書館や体育館） 自然関係（2人）（林を使ったミニアスレチック、山口の森が早く使えるようになれば良い） ICT関係（2人）（iPadなど軽いタブレット、LDの生徒が使いやすいデジタル端末の配布と全教員の知識習得） 運動着等の譲渡会（高いので）（2人） 地域がら長靴やスノーブーツなどで登校することが多いなか、下駄箱が少し小さい感じがする。
	授業や学習	自分のペース（時間割・習熟度・成績別・選択制）で学べる授業（それをサポートする人）（29人） 学習内容や方法の充実（9人）（漢字を音読み訓読み両方、英語教育の充実、仏・中語の選択、機能的な身体の使い方の指導、色々な競技や軽井沢ならではの競技を授業で体験、体を動かしながら勉強、個性を育てる） 運動関係（7人）（水泳やスケート、カーリングの授業を増やしてほしい） 自分に合った学び方を探せる・選べる（7人）（パーテーションをより気軽に使える、静かに集中して学べる） 探究の時間関係（6人）（1日中・1年間取り組む、自分でテーマを決めて取り組み知識のある先生や地域の専門家への橋渡し、失敗をしながらゴールを目指す、教科にとらわれず好きに表現できる） 体験や交流型の授業（5人）（校外学習、他学年と一緒に興味のある学習する等） ICT関係（5人）（タブレット端末などを使った適度な情緒系の授業、オンライン学習、リモート授業） 少人数・個別での授業（4人）（ついていけない子への対応、勉強のサポート、わかば教室の頻度を増やす） ディベートやディスカッションの時間（3人）（大人や先生が極力介入しない） 既存の学習の継続（2人）（音楽の授業でのそれぞれの好きな曲紹介、養護教諭による性教育） 児童がそれぞれ自分の興味関心を深められる環境（校外学習など）（2人）（個と共同の学びも行き来できる） 自分から参加する授業（2人）（昨年、児童对教師の授業ではなく、グループ学習がとてもよかった） 暗記学習や受け身の学習ではなく、思考力を育む授業（2人） 色々な先生と関われる授業、時間（2人）（国算理社が担任だけでなくさまざまな先生から教われる） 合理的配慮（2人）（LDを抱える児童への合理的配慮や個別学習が可能な環境、口頭だけでなく視覚での指示） タブレット学習は、読み書きなどの基本がちゃんとできるようになってからでも良いと思う。 なぜこの学習をするのかという理由を質問される事が多いので、実際の生活の場面を想定して説明いただきたい。 その他新たな学習（12人）（芸術、お金、SDGs、防災知識、包括的性教育、人権教育、主権者教育、様々な国の文化や言語・宗教等を学ぶ機会、教科書以外の文化的な活動、赤ちゃんと触れ合う機会や命の授業、漢字検定） 新しいタイプの成績表（あゆみ）を検討すること 長期休みの宿題
	その他	休み時間に好きにできる塗り絵、給食を増やす、服や体操着のリサイクルボックス、畑、安全な通学路

「こと」	行事	運動会関係（17人）（昔のようにきちんと競わせる、リレーや親子競技が保護者参加競技の導入、簡素化せず見どころを増やす、練習期間を延ばす、9月等秋頃が良い、半日から1日に、赤白2組ではなく3組または4組に）
	行事	遠足関係（10人）（復活を希望、年に2回ぐらい・春と秋に・全学年あると良い、バスや電車で遠出したい）
		校外学習関係（6人）（八風山強歩登山の継続や希望、林間学校、大賀ホールでの音楽会、色々な体験をして欲しい、地域の方々の協力を得ながら活動できる場や畑・田・自然を感じられる機会）
		音楽祭や運動会の内容をより良くする（2人）（音楽祭は簡単すぎ、運動会はリレーがなく盛り上がらない）
		運動会や音楽会などみんなで一生懸命取り組む・クラス関係なく仲良くなれる行事（2人）
		行事を子ども主導にし、目的や意義を子ども主体で考える（2人）
		保護者の参加（2人）（参観日以外の参観、学校清掃等）
		その他の行事（8人）（水泳大会、1/2成人式、職業体験をもっと取り入れる、全校ハロウィン・クリスマス会・夏祭り、以前あった登山、学校に宿泊、マラソン大会、夏休みに友達に会えるイベントを増やす等）
	行事以外の校内での活動	既存の活動の継続や充実（7人）（「IU CHUBU」、しじみ清掃、おはなシクレヨン、縦割り活動、クラブ活動を増やす、低学年からのクラブ活動、トイレ等の清掃に業者を入れる）
		交流の機会（6人）（他学年、他校、特別支援学校、地域の方、親子、本について）
		給食関係（6人）（友達と丸くなって一緒に食べる、苦手なものも残さず食べる、親の給食、写真をX等で配信等）
		多様な校外活動（3人）（職業体験・見学、豊かな自然や文化・歴史の体感）
		ランチルーム関係（3人）（昼食を食べる、給食を運びやすくする工夫）
		子供がやりたいと思える、子供たち主体で企画した何かをできる時間や空間（環境・雰囲気）があれば良い（2人）
		地域に関連した活動（2人）（田植え活動）
		もっと多様なクラブ活動、もしくはチャレンジできる場所（2人）
		係や当番、委員会活動、掃除など、学校で皆が気持ちよく過ごせるよう役割分担があること。
		学習を通して自分で考えやってみる、考えたことを実行してみる場所があれば有難い。
「ひと」	休日	長期休業関係（2人）（GWを連続休み、もっと長い夏休みまたは秋休み）
	児童	子供達の優しい心
		会って話せるお友達
	教職員	話を聞いてくれる、相談しやすい先生（9人）（選択できる、質問できて答えてくれる、それを周知する）
		教職員配置関係（9人）（複数担任制、副担任制、支援員を増やす、1年生や大変な・脈やかなクラスのサポート、看護師）
		教科専門の先生（4人）（算数専科、ネイティブの英語の先生、体育、プログラミングを教えてくれる人）
		常駐のスクールカウンセラー関係（2人）（常駐にする、増やす）
		学校内で雑談できる、話しかけやすい大人の存在（2人）
		読み書き困難な生徒の学習方法についての合理的配慮と一緒に考えてくれる専門家の常駐（2人）
		「迷惑をかけちゃいけない」ではなく「自分の事も相手の事も大切にしよう」という声かけに変わると良い。
		トラブルを担任に伝える形だと「担任がいない、忙しい」ことがあるので何か解決策はないかと考えている。
	その他	先生のお便りなどをアプリ配信するときの平等なスキル
「時間」	学習の時間	先生や親に相談できないことを相談できる顔見知りの大人
	交流できる時間、自由な時間	学習で苦手な部分や理解が足りていない所を振り返る時間。または質問できる機会（2人）
		分らない部分を寺子屋プリントなどを持ち帰り復習する時間（親が〇つけをするために解答もセットで）
	日課	友達、先生、上下級生との十分な関わり合いや遊び、趣味の交流の時間（10人）
		子ども達がそれぞれ気負わず意見を言い合える程度に話し合い可能な少人数で話し合える時間や場所（5人）
	その他の時間	授業は毎日5時間あるのは1年生にとって負担が大きい。短期間で学べる工夫や無理ない時間割に（2人）
		全日5時間下校。（放課後が増える事で先生の働き方改革になると思う）
		時間のゆとり（10人）（様々なことをゆっくり丁寧に、給食の時間、先生と個別で話せる、教師が子ども達と余裕をもって向き合える、放課後に図書館でゆっくり本を探せる、大人に急かされず考える、くつろぎ）
		自分の得意なことや好きなことに取り組める時間とそれに対する支援（5人）
		懇談や面談関係（4人）（回数を増やす、保護者同士悩みや質問等を話す、先生と子どもの面談、カウンセリング）
「ルール」	ルール全般	朝の時間を戻す。子どもたちが「きのうの続き」から今日一日を始められるように。
	外見について	読み書き困難な人が世の中にいることやその合理的な配慮について、生徒や教員が知る&理解する時間の確保。
	持ち物について	その他（7人）（図書館の時間、日焼け止めを塗る時間、自分の気持ちを言う時間、瞑想の時間、遊ぶ時間、人間関係について考える時間、クラブ活動の時間を増やす）
	校内での約束	ある程度のルールは必要（2人）（もっと自由な発想や行動もできたら良い、子供達も交え話し合う）
		服装の自由（2人）（制服でも私服でも良い、ハロウィンの日は仮装して登校しても良い）
	その他	持ち物について
		おやつ持参OK
		いじめや問題行動を起こす児童への厳しい指導（別室登校の検討等）（2人）
		西部小の開門時間が他校より8時と遅いので、もう10分程早く開門すれば朝の準備や委員会活動等に活かせる。
「場所」	ゆつくりできる・安心できる場所	その他他登下校関係（2人）（8時半登校、中学に向けて6年生は自転車通学できる日を設ける）
		制度（2人）（居住地と関係なく希望の小学校に行けるように、子どもの有給休暇）
	その他の場所	SNSの利用ルール(写真の無断掲載)
		ゆつくりできる（静かな気持ちで安心できる）居場所（18人）（保健室以外、ソファがある、漫画や本がある等）
		子供達が安心して休める空間（4人）（授業に参加する元気がない時や困った時に駆け込める、遊ぶものではなく心を整えるための部屋で悩みを聞いてくれる人がいる、学校に行きづらい時に行って落ち着ける）
		皆と一緒に教室で勉強ができない子が安心して学べる場所。
		のびのびと遊べる場所（3人）（休み時間や放課後に校庭で、自由に遊べるプレーパーク等）
		休み時間や退屈なとき、気が動転したときなど気分転換（クールダウン）ができる発散の場（3人）
		自分に合ったペースで学べる空間（2人）
		教科専門の場所（2人）（英語でコミュニケーション、工作やものづくり）
「その他」	学校全体	着替えの場所（2人）（一年生の時から体育時の着替えは男女別に、十分な広さの更衣室）
		既存の場所について（2人）（図書館は端ではなく学校の真ん中に、児童館で学べる仕組み）
		授業に出られない子が居られる場所(保健室は体調面で具合が悪くないと出されてしまう)
		困ったときに相談できる場所を低学年のうちから周知する
		学校の近隣で、過ごせる学びの場所（フリースクールなどの居場所）
	その他	風通しの良さ（13人）（十分に話し合える、相談しやすい、頼り頼られる関係、挑戦しやすい、あいさつ等）
		1クラスの人数を減らす（20人くらい）と先生も子どもたちもゆとりある毎日が過ごせるのではと思う（5人）
		大人の目が行き届く環境や大人の意識（4人）（肯定だけでなく悪い事は理由とセットで叱る）
		個性や良さを大切に（3人）（個々の児童、学校全体、自分らしく学べる場や機会を増やす）
		合理的配慮（3人）（学校側から提案と実践、特性に応じた達成ラインの変更、配慮や学びの場の柔軟な選択）
「場所」	学校全体	教職員について（3人）（負担が減るように、気を遣いすぎなくて良い環境、長く働きたいと思える職場に）
		自分の事を自分で考えて行動でき、発信できる。生きていく上で大切なこの事を学べる学校であって欲しい。
		その他（3人）（安心して送り出せる通学環境、日頃から英語を使い英語が好きになれる、RTIモデルの実践）
		特性についての理解や相談体制（2人）（全ての保護者が知る機会、LDについて児童や保護者が相談できる体制）
		教職員への対応（2人）（教員のスキルアップのための講座開設や教員指導体制、モチベーションを高める対応）
	その他	学校での生活面のサポート（持ち帰り忘れ等）（2人）
		防犯対策（2人）（少し早い時間に職員玄関を使用した際誰もおらず、誰でも侵入できる状態だった）
		PTA関係（2人）（全校児童加入、正義の押し売りのような方がまとめ役にならないことを願っている）
		その他（3人）（どの学年で何の感染症が出ているか報告、東部小区域を広げる、生徒数が少なくとも母校が存続）
		今のままで十分、現状通りで良い（3人）

問4 学校にないほうがいいなもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

【回答の傾向】

「もの」	受け身の授業についてや宿題についての回答が半数近くを占めている。
「こと」	回答に占める割合が最も大きく、なかでも学校文化や学校風土についての回答が半数以上を占めている。
「ひと」	教職員の言動についての回答が半数以上を占めている。
「時間」	日課についての回答が大半を占め、なかでも6時間授業の見直しについての意見が多い。
「ルール」	児童が自分で選択したり、話し合ってルールを決定できると良いという回答が一定数見られる。
「場所」	校長室についての回答が見られる。
「その他」	PTA制度についての回答が3分の1程度を占めている。



※「なし、特になし」の1名の理由：「嫌な友達や先生も理不尽なルールや事柄も子供の成長の糧になると思うので」

項目	内訳	意見
「もの」	学習①（授業のあり方）	ずっと座って話を聞く、ノートをとるだけの授業（20人）（分からなくても一方的、同じ進度、1年生は興味がなければ座ってられない）
		興味の持てない授業の進め方（3人）（プリントのみ、学習指導要領をこなす）
		個々の困りごとに配慮しない授業（2人）（読み書き困難な生徒へのプリント学習＆本人の意に沿わない学習方法）
		正解やつくるものが決まっている授業（2人）（正解を答えるだけ、図工）
		助け合いという名のもと、勉強ができない子の面倒を、他の児童に見させること。先生の負担軽減のために押し付けられている場合がほとんど。教えることで学びにもなるが限度がある。
		子ども達がずっと座っていても気にならない授業をするにはどうしたら良いか？これは教師の力量に関わってくる問題。学校はみんなと同じことをしながらも協力、協働で学ぶ場でもあると思う。（例）によって先入観をもたせ誘導するような発問はいかがなものか？
	学習②（具体的なものや授業や活動の中身）	風越学園方式の学び方。本質をわかっていない先生方が教えても無意味。教科書に沿った内容で授業をしないのに、テストは先生が作ったものではなくて買ったテストをするものだから、平均点が低くなる。教科書使わない教え方ならテストも先生自身で作るべき。
		宿題関係（10人）（つまらない宿題、長期休みの宿題はもっと少なくして良い、宿題の排除等）
		テスト（2人）
		毎日の宿題はいいと思う量が日によって変わるといいと思うし、土日はなくてもいいのでは。間違っていないも見落とされたり先生方の負担も多いと思うがそもそも何のための宿題なのか。
		苦手な教科のテストや宿題
		プール、スケートの一択しかないもの！
	その他	セルフビルド（名前はカッコいいがドリルの時間ですよね？）
		通知表
		設備や制度関係（5人）（エアコンの匂いが気になるので新しくしてほしい、チャイム、時間割、欠席した日に友達に持って帰ってきてもらおうお便りや宿題）
		体操着関係（4人）（夏場等汗をかきやすいので涼しい生地、あまり使わないのに指定のもの）
		ランドセル（3人）（重い、長く歩く子供はかわいそう）
		給食関係（2人）（牛乳、シェフ給食）
「こと」	行事	算数セットの個人購入
		登校班、集団登校。
		運動会関係（2人）（内容の少ない運動会、子どもと別々の昼食）
	行事以外の校内での活動	その他の行事（4人）（皆がやる行事、遠足、先生が授業を進める参観日、来賓の長い話）
		昼食関係（2人）（姉妹学級との交流・なかよし弁当、シェフ給食は子どもに不評）
		その他の活動（2人）（高学年の朝の読み聞かせの時間、支部児童会は年に1～2回位で良い）
	休日	夏休み
	人権的な問題	みんなの前で（長々と）怒られること（忘れ物の指摘も）（11人）（それを見ているのもないほうが良い）
		いじめ（7人）
		暴力的・ちくちくした言葉を友達に発すること（学校でも指導してほしい）（3人）
叱責（3人）（人格否定のような叱責、先生からの一方的な叱責）		
授業妨害などで学びたい子どもの時間が減ってしまうこと		

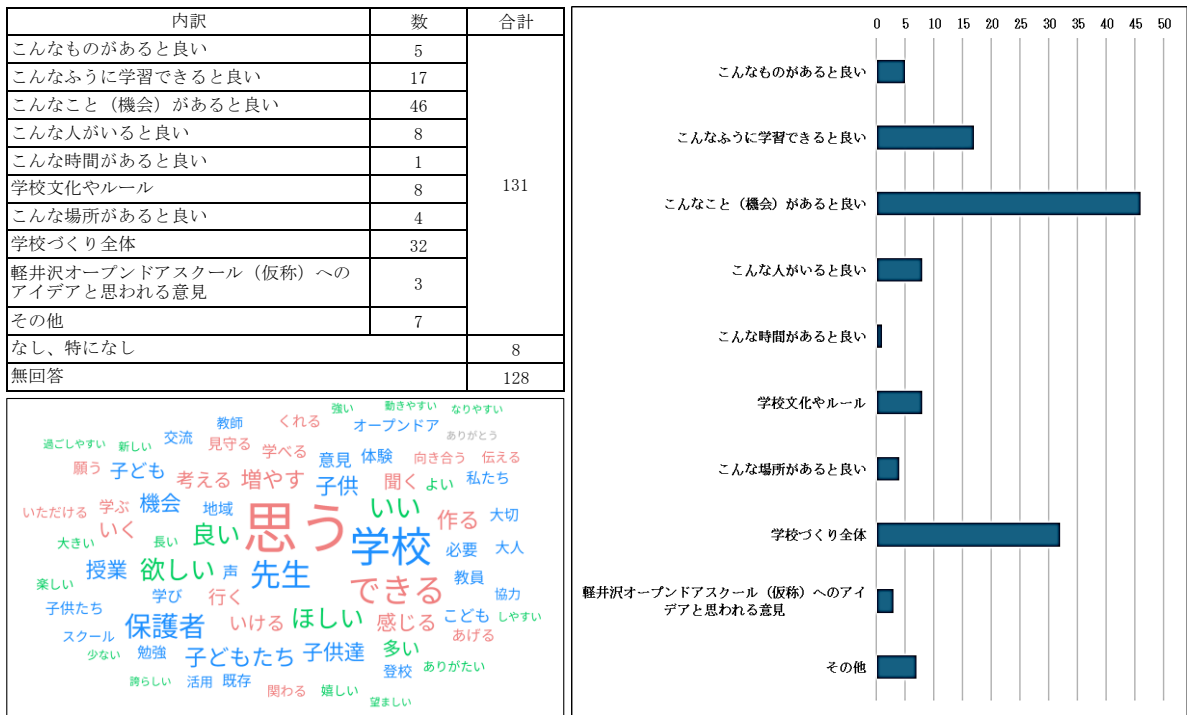


「こと」	学校文化や学校風土	皆が同じことをしなければならぬ雰囲気（個人尊重のようで和を乱すのを嫌う）（14人）
		皆が同じペースでやらなければいけない雰囲気（3人）
		子どもたちの主体性をつぶす（3人）（受け身な人間をつくる、先生の扱いやすい子がいい子）
		指導のあり方（3人）（悪い事をした時に晒される、連帯責任、あだ名を一律で叱る）
		多様性を尊重しないこと（2人）（自分と他の人が違うことを認められるようになること良い）
		行き過ぎた平等主義と個性、自由や自主性の尊重（2人）（基礎的なことを踏まえてなら良い）
		順位や勝ち負けがなくなる事（2人）
		座席関係（2人）（席を固定しない方がいい、列になる配置は時代錯誤）
		ジェンダー関係（2人）（ジェンダーバイアス、便宜上チーム分けするときの安易な男女分け）
		教職員について（2人）（一人の先生が受け持つこと、大事なことは一度しか言わないこと）
		中部小は人数が多いからやらないんだよ、人数が多いからしょうがない、と会話から出てくる。そう感じさせてしまう学校の雰囲気。
		偏った思考の学校の考え方を取り入れる風潮もやめてほしい。
		大人の都合で、子ども達が楽しめる行事をどんどん無くしてしまうこと。
		時代に合わなくなっている慣行
		他人と比較すること
「ひと」	児童	年度はじめに決められた担任やクラスは、1年間こどもの意思では変更できないこと。
		努力した過程ではなく、結果で評価すること。
	教職員	授業中にトイレに行きづらい雰囲気。
		クラスの雰囲気を壊す人
「時間」	日課	人の気持ちを考えないで汚い言葉や態度を使うお友だち
		ふさわしくない態度（6人）（威圧的、子どもに見せられない態度や言葉、子どもを放任）
	保護者	偏った（柔軟でない）考え方や行動（個々の困りごとに配慮できない）の先生、指導員（3人）
		保護者の介入（2人）（先生のやり方に口出ししたり、先生の悪口を自分の子どもに話したり）
「ルール」	ルール全般	人の気持ちを考えず汚い言葉や態度を使うのが我が子だからとありのままを勘違いして曲げない
		6時間授業の見直し（6人）（朝0時間目を作り5時間までに、午後は疲れにくい授業にしたり5時間授業を増やしたりする、冬だけでも6時間目をなくす）
		時間割関係（2人）（時間割の排除）
	外見について	時間割関係（2人）（時間割の排除）
		子どもたち同士のディスカッションタイム
		理由もなくなぜかわからないけど守るべきルール（5人）（意図が伝わっていないルール）
	持ち物について	ある程度のルールは必要（3人）（あまり自由過ぎない校則で良い、快適な学校生活を送るためのルールは必要、身だしなみや他者への影響等を考慮し、社会に通用する校則が必要）
		校則、厳しすぎる校則（2人）（軽井沢の学校の校則がどこまで厳しいのか分からないが、髪型やスカートの長さまで厳しく決めることは子どもの成長には有意義とは思えない）
		最低限の時間割や勉強に必要な物を除いたルール（2人）（子供達が自分達の育ちの場である事を理解して自分たちで話し合っルールを決めていくことができる場所になればいい）
「その他」	学校全体	子供がルールを決める
		皆が同じものを使ったり着たりすること（7人）（選択制が良い、高価なことへの抵抗）
		髪長さ、色、パーマなど容姿に関わる校則（2人）
	校内での約束	真夏もヘルメットでの登下校（熱中症の危険性、行事によっては赤白帽子で良いのが疑問）
		体操服の上が半袖の場合は下も半ズボン、上が長袖の場合は下も長ズボン（自己調整が良い）
		マニキュアや髪染め禁止。→授業には関係ないが、障がある訳でもない。
	その他	体操着でなければならない。一動きやすい服装であれば良いはずであり、動きにくい服装/運動には危険な服装である場合はそのくらい子供達も実体験や話し合いでどうすべきか理解できる。
		ピアスや染髪自由化
		筆箱の中身の決まり
	その他	個性を伸ばそうとしない教育（2人）（団体行動のみに重きを置く）
		今のままのあなたでいいという教育。今はまだこれが足りない（間違っている）から直していこうというのが良い。
		子供達が自ら学び自ら考えて行動できるよう、先生達に関わり方を変えてほしい。
	その他	結果はそれぞれでよいので、シンプルに文武両道を目指すことがよいと思う。
		以前、子供のヘルメットを誰かが持っていつてしまい学校へ連絡したら翌日は赤白帽で来てもいいですよとのことだったが、ヘルメットを被らないで登校中に何かあったらどうするんだ？と思ったが、言うことで先生の負担になったら…うるさい親だと思われるかも…と考えてしまい言えなかった。責めたい訳でもないけど言いたいことを言えない保護者もいる。相手だったり現場が学校だからこちらが言いにくいという雰囲気が少しでも無くなればと普通に出来る子が損をする環境
		PTA関係（6人）（支部の活動、結局嫌々やっている、ボランティア制が良い）
	その他	PTA任意加入が混乱を招いていると感じる。より良い学校を、地域で作っていく・自分たちでより良くしていく意識づけのためにも学校運営に親が参加することは意味があると思う。当事者意識がなくなると、お客様感覚の文句やマイナスのフィードバックが増える懸念がある。
		明らかに特定の生徒に問題がある場合、それにより授業を困難に感じる生徒（静かな環境で勉強したい）がいるのであれば、原級から出なければならないのはどちらか、考えてみていただきたい。
		選択制の問題
	その他	ずっと座って大丈夫な子どもと、そうでない子供がいると思う。大人になっても、ご飯を食べる暇もないくらい動きっぱなしのサービス業の方もいれば、しっかりと中食の食べられる座りっぱなしのデスクワークの方もいて、向き不向きがあると思う。不必要に危険を除去することも、社会に出た時に、危機感や危険を察知する能力が低下すると思う。
		児童の保護者とのやりとりを、別の専任の方が担って、先生が直接される回数が減って欲しい。
		意見をすぐに学校に言う少数派の保護者の意見をすぐに聞かないで欲しい。
		現状どおりでよい。

問5 その他、「私たちの学校」をつくっていくために、何かアイデアや意見があれば記入してください。  
いくつでも可。

【回答の傾向】

・交流の機会や自然との関わり、学校づくり全体についての意見が多く見られる。



内訳	意見
こんなものがあると良い	新しい備品の提案（3人）（机やイスを新しく、意見箱、お預かりボックス） 電子教科書等ペーパーレス化が進んでいるが、ある程度のペーパーベースも必要なので、よく検討して欲しい。 異年齢のクラス、一部分でもがっていてもいいと思う。
こんなふうに学習できると良い	探究型・体験型・主体的な授業（4人） 軽井沢ならではの学習（4人）（自然の中で勉強できるような授業、課外活動を増やす、スケートやカーリング） 選択授業（2人）（中学、高校、大学へ進みたい子どもと 職人や企業などへ進みたい子どもと アスリートや芸能関係 農業、林業、漁業などなどイベントとしてではなくて、授業に取り入れていくようなスタイル） 熱はないが登校出来ない場合等のリモート出席が可能だとありがたい（2人） その他の学習（5人）（ゲームで学べる、自分達の歴史や環境を学べる、ディスカッション、英語をもっと学べる、大学生や地域おこし協力隊とのコラボ）
こんなこと（機会）があると良い	交流関係（9人）（子どもによる人材募集、学年を超えた交流の継続、学年クラス関係なく友達との交流や話し合いの場を増やす、他校との交流、色々な大人の話を聞く、クラブ活動の時間に地域の方々を含めた交流、国際交流） 自然との関わり（6人）（八風山登山の継続、外遊びを増やす、田んぼや畑の所有、農作業、育てた野菜で調理等） 保護者の理解や関わり（5人）（差別すると傷つく人があるということの講習会やお便り、学校の様子を見守る、学校での出来事を気にかけて応援、参観日以外で学校に向く、児童がどう考えて実行しようとしているか知る） 給食関係（2人）（給食の継続、ICTを活用して残食が出ないような調整） 行事関係（2人）（毎月何か楽しい行事があればいい、運動会の種目を増やす） 子供たちが伸び伸びとやりたい学び（発表や発信含む）ができる場であり、色々な体験を通して優しさや強さを育めるようになって欲しい。例えば、協力し合って何かを作ったり成し遂げたりする体験をさせて欲しい（2人） 先生からひとりひとりに話をする機会（2人）（子供からの悩み相談等を受け身で待つようなプリント配布に終始しているが、あえてそういう場を一人ずつ保健室等で設けて話をきけるような体制） 保護者や卒業生も一緒に参加する企画（2人）（西部小の合唱のように有志で、運動会の種目） 教職員関係（2人）（教師の教育、教師増員と教師へのカウンセラー） 子どもたちは意外になんでもよくわかっており、大人にはない柔軟な考えがあったりするので、学校でなにか変更することや、取りやめにするなどがあったときは、その理由を伝える機会があったらいいと思う。 同じことをしていないと注意されたり、圧のように怒られたりすることがあるがどうしてそれがいいのか本人たちは理解できていないように思う。人間なのでイライラすることももちろんあると思うし先生方は大人数見ているので大変だと本当に思うが対応や声掛けをもう少しみなさんでよりよくできるよう共有など（されていていると思うが）してもらいたい。先生によってやり方が多く違い戸惑う。 保護者も教員もそれぞれに子どもと向き合える受け皿を広く深くするための情報や体験談シェア デジタル活用とプロセス見直しによって、書類作業を最小限にし、先生方が生徒一人ひとりを観察し見守るゆとりを生み出す。 仕事等でどうしても児童館に預けたいといけない時があるが、宿題が終わるとやることがない、いつも同じなので退屈して子供が児童館に行きたがらない。有料でも良いので児童館に預けつつ学べるものがあると良いと思う。習い事に行かせたくても仕事で送迎できずに諦めている親御さんも多い。 その他の活動（9人）（英語を使う機会を増やす、茶道・華道・剣道・柔道などの体験、手を動かしての活動、動物を飼う、防犯講習、毎日のトイレ掃除、クラブ活動の時間を増やす、子供作品展覧会や昔遊び体験等、TOEFL実施）
こんな人がいると良い	外部からも人を入れ（町職員、保護者ボランティア、特別免許状の活用等）、町全体で子どもを見る（3人） 子どもが相談しやすい、子ども一人ひとりに声がけして気かけられる先生の存在（2人） 人手を増やす（2人）（支援員、担任ではない保護者窓口担当、カウンセラー） 木もれ陽の里や児童発達支援センターなどの場所に定年後などの先生を支援員として配置
こんな時間があると良い	休み時間を長くしてほしい。

学校文化やルール	通学方法（2人）（自転車通学、バス通学）
	学校に行っている時間は学校のルールに従う、先生のいうことを聞くでよいと思う。子ども達や保護者に意見を聞いてもすべてを反映できるわけではない。責任は薄まるかもしれないが。家庭では保護者がしっかり子どもと向き合う、学校では先生にお任せするが双方にとってよい。
	学校である以上、一定のルールは必要だと思う。ヘアカラーやピアスなどの規定はあってもいいと思う。
	「私たち」の学校であるならば、子供同士でルールを決めたり話し合える環境を作る事が大切。
	週5行かなくてもいい、1時間目からいかなくてもいい校風に
	登校班(通学班)制度。月1ではなく毎日、班で登校！
	生徒は教室の温度について意見を述べるができるはずである。
こんな場所があると良い	廃材や、リサイクルできるもので、秘密基地が作れたりする場所
	女子更衣室、男子更衣室がほしい。
	学校内にリースクールのような空間（環境・雰囲気）があればいいと思う。
	放課後学習教室
学校づくり全体	保護者の学校の活動への参加や協力（4人）（事前に保護者が任意で登録をしておいて、教員の手が足りない時にすぐに協力要請ができるようにする、バザーや清掃など、必要な時に学校から呼び掛ける）
	あいさつを返してくれる子供達の多さに驚いている。私たちの学校らしさの一つとして大切にしていきたい。
	改善することも大事、声を拾ってくれることは大変ありがたい。だが今まで続いているよいことも守る価値があると思う。学校自身がどうありたいか、周りの声にブレることなく原点を大事にしたい。
	多様な人との関わりの中でより良く生きていく術を教えてくれる学校であって欲しい。声の大きい意見（実は少数意見のことも多い）に振り回されることなく、先生方の信じるものをブレることなく子どもたちに教えて欲しい。
	つい数か月前まで毎日走り回っていた子供たちが、入学したとたん毎日7時間座りっぱなしで自由のない生活の中静かに勉強しなければいけないことに大きな戸惑いを感じる。座れない子供に対して先生が強く注意し、登校数日で子供が泣かされたという話も聞いた。友達との関わりも短い休み時間しかなく、この生活の中で学校に通うことの楽しさを子供たちは見つけられるのか。学校は勉強するだけの場なのか、何を学ぶ場なのか考え直す時なのか。
	以前あった公開日を作ったり、いつでも誰でも観に来ていいという形にするなど、学校をより開放的な場所にする。
	子ども達のやりたいことを引き出し1年通して取り組み、成果をアピールできる場としての学校。
	子ども達自身が、自分の学校生活に責任を持つ事が大事だと思う。保護者や教師が代わりに何かをやってあげるのではなく、子ども自身がチャレンジしたい事に向かっていけるようなサポート&見守りがあるといいなと思う。
	ひとりあたりのこどもの人数を減らし余裕を与える
	あってほしい私たちの学校の姿は、そもそも大学受験のやり方から変わらないと無理なのでは…。知識も必要だけど知識以外の非コミュニケーションの力もないと今後やっていけないような気がする。あと、伊那小学校でどのような取り組みされているか聞く見る体験してみるとか…。
	実技や体験ができるリソースのある人が集う場として学校の役割は引き続き大きいと思う。行けば誰かに会える、発見がある、自然に足が向く場所として、先生も生徒も学び合って成長していく存在であるとうれしい。
	子供たちが元気に、お互いを思いやれる学校。人の痛みが分かったり、自分がされて嫌な事は相手にもしない、自分より弱い立場の人を助けられる、困っている人に手を差し伸べる、お友達を気遣える…人として当たり前にできて欲しい、小さいうちから身につけて欲しい社会のルールを学ぶ機会をたくさん与えて欲しい。
	人が人として生きるために、人間同士のつながりがとても重要。学習指導要領をおさえた上でコミュニケーションの場づくりをするのは、時間的に難しいのだろうと思う。それでも人の成長のために人となつがることを義務教育の年齢の子には身につけていって欲しい。トラブルが起きた時こそそれぞれの成長のチャンスと考えて、子どもたちと関わっていきたい。教職員だけではなくいろいろな大人が関わりながら学びあって乗り越えていけたら。
	かわっていくことを諦めない。
	みんな違ってみんな良い。
	勉強がよくできることよりも、主体性や自分の意見をしっかりと持てる子どもが育つと良い。
	多くの先生方で子どもを見守ってほしい。人が足りず、先生方の負担が色々多過ぎると思う。給与アップや、先生になりたいと思う学生が増えるようにしてもらいたい。
	学校で過ごす為に当たり前と思われることや、常識的な事は、子供も保護者もきちんと守りながら、保護者同士、担任だけでなく、先生達とも柔軟に連絡がとりあえ、地域まるごとみんなで子供達を見守り育てる学校になるといい。
	目の前の問題を片付けるという方法ではなく、何が本当に子どもたちの将来に大切な、何代も先の子どもたちのことを考えて、色々決定して欲しい。
	他者評価ではなく自己評価の大切さが学校全体に広がると良い。ただ、先生も親も一緒になってその文化を育てなければ意味がないし実現できない。先生と親が学べたり意見交換できたりする場がまず必要のかなと考えた。
	学校は昔から続く何かを無くそうとする前に、保護者も交えて熟考する機会を作って欲しい。
	保護者のアンケート結果より子どもたちのアンケート結果を多く取り入れるべき。子どもたちが通う学校なので、子どもたちが望む学校づくりをしてもらいたい。一から作るなら、町内に世界最先端のSchoolができることを期待。
	地域との密接な連携
	「私たちの学校」とかって変なオリジナリティ出そうとしなくても、私たちの学校は昔からある。どなたかのご都合でかなり捻じ曲げられてしまっているが。
	先生方がとても頑張ってくださいっていて感謝している。アメリカには先生の日があり皆でプレゼントをあげる日。
	子供達のためにありがとうございます。先生方が元気で笑顔でいて下さる事が子供達にとって大切だと思うので、先生方の負担を保護者や地域の大人で少しでも分け合えたらいいなと思っている。
	学校も親も、もっともっと子どもの声をきかないといけないと思う
	風越学園やサミットアカデミーなどの特色のある校風の先生といい部分を情報交換して普段の学校生活に生かす。
	今、学校へ足が向いていない子どもたちや、公立学校を選ばずに自由教育系の私立学校へ通う子どもたちの意見やアイデアをたくさん聞く。
軽井沢オープンダスクール（仮称）へのアイデアと思われる意見	決して単なる不登校児の受け皿だけにはしないで欲しい。セーフティーネットとしてのオープンダスクールだけではなく意味がない。公教育をより豊かにするために、既存校もオープンダスクールと同様の学びの空間にすべきである。そうでなければ不登校児は増加の一途をたどると思う。
	それぞれの特性に考慮した環境作り（児童・保護者・教職員がともに学び合う体制）。これまでの「公立学校」の常識を排除するところから始める。既存の学校とも行き来できる体制作り（特別な学校にしない）。将来的には「私たちの学校」が既存校にも波及できるような仕組み作りを目指す。
その他	設置場所は、間違っても既存校の併設はやめてもらいたいと思う。学校の門をくぐらない児童生徒が、果たして学校の敷地に併設されるオープンダスクールへ行くだろうか。そういう子どもたちの心理的感情も十分に考慮願いたい。新しい建造物にしろなくても、既存の公共をリノベして活用すべき。例えば離山図書館は夏期間間三か月のみ利用なのだから、候補の一つになるのではないかな。リノベーションをする形で完全なる分校型をお願いしたい。
	まず西部小のクラスの松・竹・梅表記をやめてほしい。1組2組がいい！
	まず先生方が柔軟な心をもってほしい。
	いくつ町、県の上層部の方々が我々はやっています！アピールが出来ていてもキレイ事ばかりで現場で子供やその保護者などと向き合ってくれる先生方をまずは大事に大切にしてくれて貰えれば、その先生方も子供達に対しての向き合い方も良くなり、その子供達も安心して先生と一緒に私達の学校を誇らしく作っていく事ができると思う。
	現時点で子供達が望む学校になっていないのだろうか？もしそうであれば、どんなところが望ましくないと感じているか、問題に思っているかを質問の前に提示いただくと回答しやすい。
	学校がどうにかするというより家で保護者がメインで向き合うのが必要で学校やscは保護者とともにこどもの伴走者になれたらいい
	今のままで十分。
	今回のように意見を伝える機会をいただけて、とても嬉しい。

- ・困ったときに相談や交流できる場所や、学習面でのICTの活用や復習のツールについての意見が多く見られる。

Category	Count
空間（環境・雰囲気）	20
時間	10
場所	53
ツール（設備・施設）	53
ひと	27
その他	44

ツール（設備・施設）	補習関係（３人）（塾には行けないが必要な子のための放課後学習支援、長期休業中、疑問点のネット配信等）
	宿題や課題の充実（２人）（宿題が少ない、以前より学習の時間が減っていると感じるので本人主体なのはわかるが、ある程度宿題や課題で学力が向上する機会を作してほしい）
	勉強の復習ができるツールや進めている単元の確認ができるツール（２人）
	施設関係（２人）（中部小の女子トイレを新しく、通学路の街灯や防犯灯を増やす）
	こどもが興味を持てる授業の進め方(学ぶ意欲を育てる工夫)
ひと	勉強で分からない所を聞ける（今は聞いても授業が進まなくなってしまうから喋らないでほしいと言われてしまう）
	子どもの声が、先生を通してではなく直接、教育委員会に届く仕組みを作してほしい。
	その他の支援（３人）（送迎のバス、学習支援とコミュニケーション支援、先生の負担が減る支援）
	教職員の増員（８人）（町派遣の教師、サポートの先生や支援員、学習指導員を増やす）
	カウンセラーの来校日を増やし、いつでも相談できる環境にする（５人）（常時を希望、現在は来校日が少なすぎ）
その他	学習のサポートをしてくれる人（３人）
	専門家についての要望（２人）（LDに関する専門家配置、より詳しく相談できる専門家の紹介）
	子育ての心配や不安なこと、困ったことをいつでも相談できる人（２人）（低学年のうちから児童にも周知する）
	お友達とのトラブルなどで十分な体制が整っておらず、先生の忙しさによりあいまいなままにされてしまった。そのようなフォロー体制が欲しい（学校カウンセラーや県から派遣されるカウンセラーに話したが、悩みを聞くだけで終始し、実践的なアドバイスなどは皆無で徒労に終わった）。
	子供たちでの掃除だと限度があるようでトイレが汚い、臭うなどの理由でギリギリまで我慢している。難しいとは思いますが長く使用するために外部の人を週に一度でも入れてもらうことはできないのかなあと思う。また雑巾でトイレの床を掃除していると聞いて...（違ったらすみません）それは辛いかなあと個人的に思っている。
その他	地域の人との交流
	いじめが発覚後の加害者側のカウンセラー。必ず被害者が悪くなる。
	診断名付かない発達凸凹グレーゾーンの子たちの理解者（親も学校も）
	小中高の連携コーディネーターを配置して欲しい。幼保小中高の連携を推進している軽井沢町だからこそ、学校間の連携や、学校の枠を超えて一体となった取り組みを教員が担うのではなく、教育事業に従事したことのある人材を活用して欲しい。そして校長職を退任したシニア層ではなく、若手、中堅人材の活用が肝要であるように思う。行政職員だけで成り立たせるのは、過重負担になるだけでなく、連携が上手く取れないように思う。
	指導主事を配置していないのはなぜか。このあたりも課題のように感じている。
その他	PTA廃止や負担軽減（４人）（共働きで行うのはきつい、ボランティア制や外注にしてほしい。働き方も多様化しているのではや昔のやり方で通用しないと思う。６年生までに必ず役員をやらなければいけないなど、時代錯誤かと、、、PTAが外注になれば会いた時間子供と触れ合うことができる）
	オープンダアスクールではなく、今の学校をもっと過ごしやすくする支援をして欲しい（３人）（小学校は比較的のびのび成長する支援があると感じられるが、中学に進んだ途端、制服をはじめ窮屈な生活になりそうで非常に心配）
	教員研修（３人）（いじめに関して、よりよい人間になるための持続的な研修、知識や体験の共有）
	行事について（２人）（運動会で教職員参加の競技、八風山強歩大会の内容変更について児童の思いを聞いたか）
	休日関係（２人）（ラーケーションの導入、夏休みの代わりに平日に欠席にならない休みが５～１０日くらい欲しい）
その他	学習への要望（２人）（英語以外の多言語でも遊ぶ、基礎学力の定着に向け他県の取り組みの導入）
	保護者が学校の様子を見る機会（２人）（参観日を増やす、普段の様子を見る機会）
	お願いする所違うかもだが、通学路の改善をお願いしたい。歩道がボロボロになっていたり、下草や植木などが歩道にはみ出しているせいでちゃんと歩けなかったりしている。
	帰りのスクールバスを出してほしい。バス停が遠くて一般の人と一緒に心配。
	給食が足りないといっているの、質と量の向上を希望する。食材費が高騰しているの、予算も増やしてほしい。あと、食材の納入業者も現在がひどい状態なので、群馬や佐久などからも仕入れていただきたい。
その他	おいしくて安全な給食を提供してほしい。しなびた野菜が納品されると聞く。業者の選定から見直してほしい。また軽井沢町内で収穫された野菜やお米をもっと使った給食を提供してほしい。シェフ給食よりも子供達のためになる食育活動に力を入れてほしい(シェフ給食はエキシブやレストランの宣伝としか思えない)
	発達グレーの子がクラスにいる場合、その子が過ごしやすい環境づくりや配慮は当然されると思うが、真面目に授業を受けたい子、嫌だと思っても言えない子等立場が弱いような子が、我慢ばかりすることなく安心して過ごせる環境にも配慮してあげられる支援やフォローが充実すると理想的。
	問題行動を起こす子供の別室登校など、専門的な対処。担任の負担軽減にもつながるし、他の子供たちへのメリットが大きい。中学でも是非ほしい制度。
	特性のある子どもたちについて全ての保護者が知る機会がほしい
	少数派への配慮は申し分ないほどに感じているが、多数派が我慢する場面が多いように思う。また学習面でも、定着が難しい児童へのアシストは多く、逆に勉強が得意な子の自己肯定感が育まれる場面も多々ある中、中間層ヘスボットライトが当たる取り組みが少ないように感じる。
その他	情報の出し方にもう少し気を使っていたらありがたい。個人面談の場所が教室であることは他のママから聞いた。運動会は保護者席がどこなのかわからず、上級生のママに聞いた。小学校にとっすでに当たり前のことが、初めて子供を小学校に預ける父母には当たり前でないことがたくさんある。
	コロナ禍以降いろいろな変化がありもう一度立ち止まって学校が子ども達にとってどうあるべきか皆で知恵をしぼって良い方向に向かうことを願っている。
	定期的ないじめの実態調査や、先生の職場環境のチェック（ハラスメント）
	人数が少ない学校のメリットを最大限に活かした学習内容でいてほしい。また、少人数だからこそできる学習方法や体験もたくさんあると思う。子供達がお友達を尊重し、仲良く、楽しく学校生活を送ってくれることを望む。
	生徒の人数が少ない事などによって、同じ町内なのに学校によって出来ることと出来ないことがないようにすべき。
その他	公立の小学校の魅力を伝えられるようなサポートや行事。
	先生に余裕ができる様な学校作りがむしろ大事なのかな？と思う。
	担任の先生が元気に働いてくださることを一番に望んでいる
	学校ではありませんが、児童館の休み期間のお弁当注文(働く母親にとって、あるのとなないのでは、預けるか預けないかの大きな違い。我慢して何とかやりくりしている方は多いと思う。特に軽井沢は夏忙しい方が多いので、早急にご検討いただきたい)
	問題を抱えているご家庭は助けを求めるのが苦手。結局支援する側も「お願いされなきゃ」支援は出来ないようなので、見て見ぬふりがこれからも続いていくのだろうな…。今でも出来ていないのに、これ以上望む意味が無い。
その他	まずは満足していない子がどれだけいるかの、何に対して満足していないのかの現状把握のアンケートが必要かと思う。既に実施され把握されているなら、今回のアンケートの最初に、現状はこうなっています→それに対してこう改善予定、または課題に思っています→それについてどう思いますか？アイディアありますか？という流れだと回答しやすい。最後になってしまったが、子供達のためにこのような回答の機会作っていただきありがたい。
	教育長は様々な取り組みに着手されているので、本当に素晴らしいと思っている。どういう考えをもって学校改革に着手されているのか、また学校の在り方について等、顔が見える形でメッセージがもっと欲しいなと感じる。定期的な発信をぜひ検討していただきたい。
	例の通り。
	こういったアンケートがあるのはすごく嬉しい。
	以前の制服のアンケートもそうだったが、このようなアンケートが実際どう活かされるのか教えて欲しい。
その他	今のままで良い（３人）



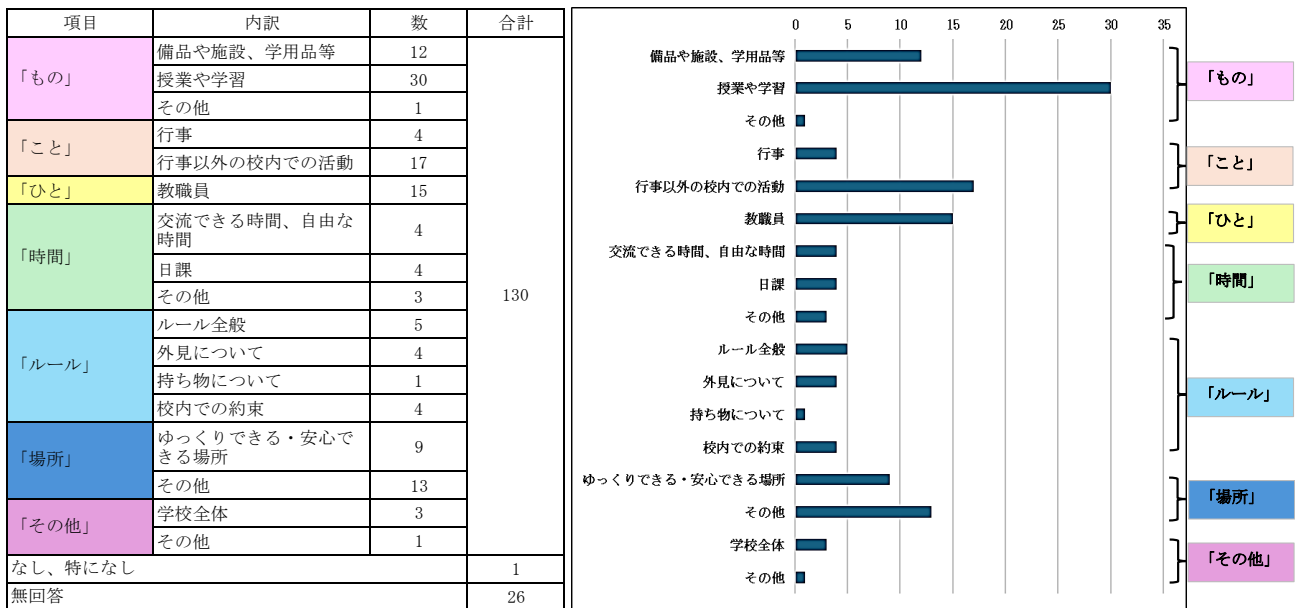
## 【資料2－3】

### 軽井沢中学校 保護者全体（回答者：111人 回答率：24%）

問3 学校に今あるものや、今はないけど今後あったらいいと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

#### 【回答の傾向】

「もの」	授業や学習のうち、自分のペースで学べる授業についての要望が最も多い。
「こと」	交流の機会や部活動についての要望が一定数見られる。
「ひと」	受容・傾聴してくれる教職員についての要望が多くを占めている。
「時間」	ゆとりのある日課についての要望が見られる。
「ルール」	ある程度のルールは必要という回答がある一方、生徒が自分で選択したり、自分達でルールを決定できると良いという回答も見られる。
「場所」	ゆっくりできる・安心できる居場所の他に、中学生のさまざまな居場所についての要望も一定数見られる。
「その他」	他自治体の取り組みを参考にしてほしいという意見が見られる。



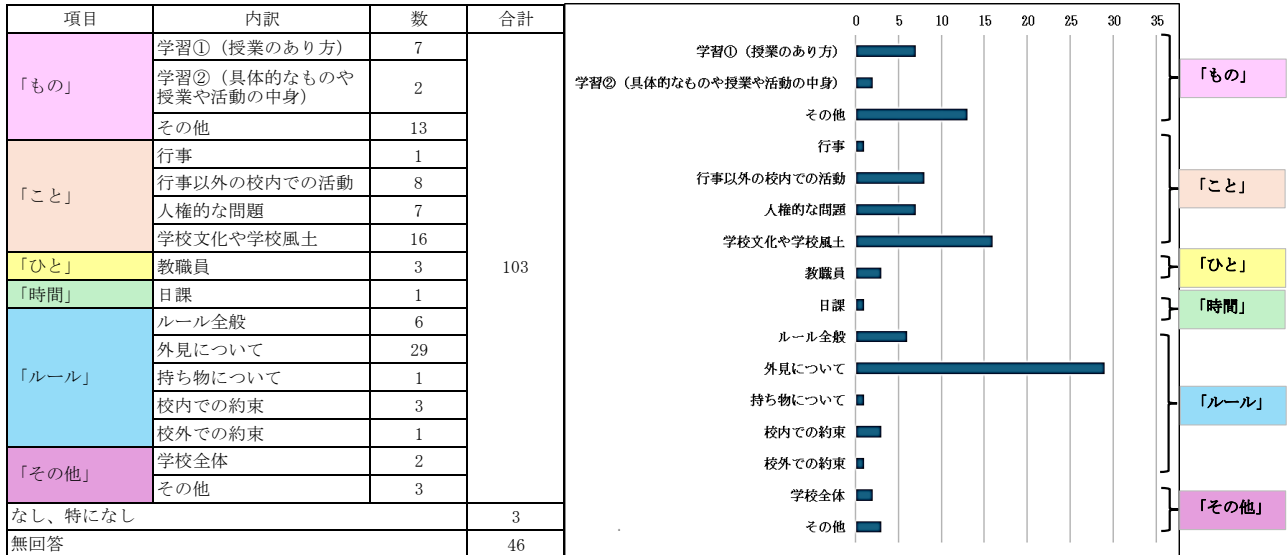
項目	内訳	意見	
「もの」	備品や施設、学用品等	登下校用のバス（特に雨の日や雪の日）（4人）（路線バスだと一般の方も一緒のため雨の日など乗員数が限られているため乗れない事もある）	
		テトルなどの連絡手段が大変助かる	
		先生との連絡ツール、電話だけでなく、テトルでこちらからメッセージを送れると良い。現在は欠席連絡だけなので、朝の時間しか確認しないかな？と思うが、その他の伝えておきたいことなども伝えられると良い。	
		校舎や楽器がある、給食などは日本の誇れる大切な宝	
		体育館のエアコン	
		オールコートで、バスケ・バレーボールが連鎖できる体育館などの施設	
		部活のスペース(バスケット部、バレー部が1／4面しか使用できない)	
		ロッカーが小さいので大きくして欲しい。カバンが大きいので。	
		自転車レーンか、自転車道もある歩道（警察から車道を走るように指導があった。学校としてもそう指導しているか？きつと誤魔化していると思う。観光客にも車道走れと言えるか？中学生はまだ大人が守らないと、子供達の安全、人権守れない)	
		自分のペースやレベルに合った授業（10人）（先取り学習、科目によっては少人数学習、特進クラスなど）	
	授業や学習	宿題など、普段からもう少し学習する習慣づけ。やるべきことがテスト前にたまって大変になる（3人）	
		学習の理解がややゆっくりな生徒も安心して同じ授業を受けながら理解していけるようなサポート、仕組み	
		学ぶテーマやレベル、学び方を、特別な支援が必要な子だけではなくだれもが自分で選べること	
		選択制教科	
		受験が目的で、日々の行動、勉強全てを例に挙げて、子ども達を叱ったり、言うことを聞かせようとしている先生が多い。本人の努力以外の原因も多い。先生の授業がつまらない（工夫されていない）にもかかわらず子供達が指摘すると、怒る。よって、先生が楽しい授業をし、苦手なこのサポートができる時間があるといい。	
		それぞれの科目の勉強の先にある学問のおもしろさを教えてくれる、体験できる機会	
		実験やフィールドワークなど、体験を通したまなび	
		日常から英語を使って簡単に会話できる、英語が嫌にならない楽しみながらできる授業	
		補習授業	
		不登校生徒のフォロー、学習補助	
		オンライン学習を充実させ、学校の登校日を減らしてほしい。近年の気象状況や不登校の生徒の現状、さらには教員の負担を考慮し、学校に行かねばならないという在り方から脱却することを実行してゆくべき。	
		教科ごとのシラバス（現在もある程度行われているが、成績の評価基準が曖昧。小テスト10%、出席10%、発言10%、中間テスト20%など明示すれば良いと思う）	
		1年生の1学期中間テストが無くなったのには正直驚きを隠せない(範囲が狭くてもやるべき)	
		その他の学習（5人）（包括性教育、主権者教育、人権教育、音楽やアートにふれる、自然の中で学ぶ）	
		その他	生徒手帳

「こと」	行事	クラスマッチはクラスの団結力が高まるので春と秋と2回あっても良いと思う。
		クラスで団結して頑張れるもの、球技大会やリレーなど
		西部小学校の様に学校スタートの競歩登山
		遠足とまではいなくても、軽井沢の町探検
	行事以外の校内での活動	交流関係（4人）（ズームなどを利用した他校との交流、先生と生徒との交流、先生以外の大人との交流、多様性や色々なものの考えがある事を体験を通じて知っている、色々な社会経験をしてきた人と触れ合える環境）
		部活動関係（3人）（継続していける部活動、文化部の充実、専門的に活動できる文化部）
		部活の種類がすくないので、やりたいことを何でも出来る環境（2人）
		毎年のクラス替え（2人）
		気軽に話をする機会（2人）（雑談、解決しなくてもいい話）
		茶華道体験
		自分の得意分野や良いところが発見できる機会
	行事以外の校内での活動	ブレインストーミングをする日
		子どもが自分のお弁当をつくる「弁当の日」
「ひと」	教職員	生徒と関わり、寄り添い色々な話を聞いてくれ支えてくれる先生（5人）
		話を聞いてくれる先生や大人(担任だけでなく、いつでも何でもゆとりを持って聞いてくれるような存在の先生、不登校になりかけている時に相談できる先生)（4人）
		今のいいところは、先生方が前向きに生徒に向き合ってくれている事
		サポートの先生を増やしてほしい。
		スクールサポーターの存在(もっと増やしてもらえと予約が取りやすくて助かる)
		保健室の先生は2人であるべき
		看護師の配置
		駐車場の出口に誘導員（右折出庫車が多く危ないと思う。右折車、左折車が同列に並ぶとお互いに死角が出来て危ない。歩道の生徒も見えづらく走行中の車も死角に入り事故が起きそう）
		クラスが離れてしまったりした友達などともっとゆっくり話をする時間（3人）
		個人的なこと、社会の問題などいろんなことがらについて、みんなと対話をくりかえす時間
「時間」	日課	もう少し余裕のあるスケジュール(とにかく1日のスケジュールも全体的に忙しくて余裕がない)
		給食の時間をもう少し長めにして、命を頂いているという意識で、ゆっくりと味わうような時間にして頂きたい。
		掃除の準備の時間が短すぎるからもう少し長くしてほしい。
		通学時間で大きく異なると思うが部活動を終えて帰宅すると19時近くになり、時間に追われるように就寝までを行動している。睡眠時間の確保を最優先にしているからかもしれないが、1コマの授業時間を長くし、授業数を減らすなどで帰宅時間をもう少し早めることは難しいだろうか。
	その他	苦手分野をもっと気軽に相談できる時間
		自分で考える時間
「ルール」	ルール全般	部活の前のオヤツタイム。熱中症予防のためにも低血糖防止のためにもぜひ導入してほしい。
		ある程度のルール（2人）（自分らしくいることも大切だが、自分らしくいる自由を覚えすぎて、自由が何なのか勝手と違うのか分らないと思うので、ルールがあるから自由がある事を教えてほしい、多様性といってもあるべきルール）
		古くある意味のないルールや校則は変更し、自分で考えて自分で行動できる環境にしてほしい。親世代の頃からのみんな一緒に考えはもう古い。
		子どもたちが中心になってつくる「学校生活のルール」
	外見について	中学生は、身体の成長と心の成長の時期で、ホルモンバランスも不安定なのだと思う。何でも皆と同じ様にということが制約になりすぎないようにしなければと感じている。でもルールもある。バランスをとることは難しい。中高生に多い起立性低血圧や貧血など、やろうとしても出来ない人もいることを子供たちが知ってくれたらいいと思う。
		天候や体調、体質に応じて服装を選ぶこと
		そもそも着替えなくて良いような服装の指定。
	持ち物について	制服の下に体操服を着させる意味もよくわからない。
		髪のカラーや制服スカートの短い生徒をきちんと注意してほしい。
	校内での約束	必ず記名してゴミは持ち帰る、を条件にするなどしてペットボトル持参可にして欲しい
		自転車通学の条件の緩和（2人）（自転車置き場を増設して対応、半径2kmではなく道のりで2km）
「場所」	ゆっくりできる・安心できる場所	女子の更衣室が使用できない理由が、よくわからず。
		部活動で、自分の都合の良い時間に帰っても良いシステム。うちの子供は、部活動の時間が長くて疲れるとか、帰り道が暗くなると怖いという理由で、早く切り上げて帰ってきてしまう。それがokだったら今のままで大丈夫。
		ゆっくりできる（休憩やリラックスができる）居場所（4人）
		一人になりたいときに静かに一人になれる空間（2人）
	その他	相談ができる場所（2人）（相談室、心配事を何でも話せる場所）
		賑やかな雰囲気が好き（うるさいのが気にならない）用のゆっくりできる居場所と静かな環境が好き（うるさいガヤガヤが苦手）な人それぞれのゆっくりできる居場所
		中学生のいろいろな居場所（4人）（学校内でなくてもいいが授業時間以外の子供の居場所、中学生の居場所、放課後の居場所、休日部活の後や前にお昼が食べれる場所）
		学習の場所（4人）（特別な設定ではなく学年関係なく学べる場、自習できる場所、長期休みに勉強できる場所、最終下校時刻まで残って勉強してられる場所）
		フリー教室(他クラスとの交流の場・仕切りなどがあり学習できる部屋)（2人）
		いつでも利用できる運動会スペース、グラウンド
		定期テストが近くなった場合の(1週間前付近から)教室や図書室で教科別学年別で学習スペース(教科担当も順番に待機して質問受ける)があると家でなかなかやる気が出ない子も勉強スイッチ入るのではないかと(私立高校では上記が実施されている)
		教室、保健室以外に、学校にいきづら子勉強できる居場所や、体制など。
「その他」	学校全体	北海道安平町の小中や保育園、地域と連携された早来こども園さん等参考にして頂きたい（2人）
	その他	一人ひとりを尊重できる関わり方。 愛知県のように、年3日まで平日に学校を休める「ラーケーションの日」があるといい。親が土日祝日は仕事なので。

問4 学校にないほうがいいなもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

【回答の傾向】

「もの」	制服や指定の運動着等についての回答が半数近くを占めている。
「こと」	学校文化や学校風土のうち、同調圧力についての回答が半数近くを占めている。
「ひと」	教職員の言動についての回答である。
「時間」	日課についての回答である。
「ルール」	外見についての回答が圧倒的に多く、なかでも制服や運動着の着用のルールについての回答が大半を占めている。
「その他」	PTA制度についての回答が複数見られる。



項目	内訳	意見
「もの」	学習①（授業のあり方）	ずっと座って話を聞く、ノートをとるだけの授業（4人）
		クラスでの授業の多さ。
		学びの選択肢がない事(授業方法が固定されている)
		プリントを多用しているが、それをタブレットでできた方がよい。
	学習②（具体的なものや授業や活動の中身）	激しい運動を伴う体育の授業
		毎日の宿題、ない時があってもよいと思う
	その他	制服（8人）（ジャージで十分、ジャージ体操服があればあとは学校外での活動ではちゃんとした服装であればいいのではと思う、私服が良い）
		男女別の制服スタイル(多様なジェンダーがいることがわかってきているのである程度組み合わせることが可能であるスタイル)
		指定のジャージや上履き
		運動着の名入(まだ使える運動着も兄弟以外にはあげられない、必要な時にすぐに購入できない)
タブレット		
最終的には校舎そのもの		
「こと」	行事	集団で行動しないといけない行事（行事への参加を自由にしてほしい）
	行事以外の校内での活動	クラス替え（2人）
		部活動関係（2人）（部活動のメニューを自分たちで自主的に計画しトレーニングして欲しい）
		給食
		生徒会活動
		各種健診
		クラス懇談会で各家庭の様子を話す、何故か良く分からない他家庭のプライベートな事を聞く必要はない廃止して欲しい。経験が浅く平等に見えない〇〇先生は篠ノ井教育再生成の所へいき1から出直して下さい質が悪い。
	人権的な問題	否定される事
		ハラスメント
		不公平な扱い
		いじめや黙認すること
		人を疑うこと。物品の紛失などが起こったとして、責めるのではなく、正直にそうしてしまったことの理由を聞くなど、自問自答を促すことが大事なのかな、と感じています。
		叱責
	学校文化や学校風土	声変わりしたとかを全体の会で話題にすること（全員が生理が来たとか、あえて話題にしたりしないですよ。上の子の学年集会で、複数の先生が声変わりのことを話題にしており、先生方は成長を感じた、と言うお話をしたかったのだとは思いますが、違和感を感じていた。集会後に『自分だけまだ声変わりがしていない』と気にし過ぎていて、という生徒さんのお母さんから相談を受けた。確かにそうなのもおかしい雰囲気はあるよね、と悲しい気持ちになった）
		皆が同じことをしなければならぬ雰囲気（同調圧力）（6人）
		男女で分けること（着替えや整列など）（2人）
		できる人に合わせなければいけない雰囲気
		過去の踏襲を是とする雰囲気
		真面目な子やおとなしい子が尊重されないこと
		1人がルール違反をすると全員が罰を受ける団体責任(罰は当事者のみにするべき)
多様性、尊重といった考え方で悪いことまで見ぬふり、許されること。		
プレッシャー　たとえばその歳の子が漠然と抱えている、親、友達、組織からのプレッシャー		
一斉活動		
冬の体育館で先生や生徒が床に座る(冷えて体に悪そう)		



「ひと」	教職員	自分の気分で生徒に接する先生
		怖い、うるさい先生
		教師の根拠のない上下の立場。教師は人間性を育み、この教師が言うのだから、従おうと生徒に思わせるように精進すべきである。
「時間」	日課	終日登校
「ルール」	ルール全般	校則
		先生によって解釈の異なるオリジナル校則。
		誰が決めたのかわからない「生活のきまり」
		訳のわからない仕組み。避難訓練の際、支援の子がクラスで授業を受けていて、避難する際に、支援でカウントするから、そちらに集合する。などのルール。
		学校と異なる部活独自のルールがあるのなら(夏でも制服で登校など)。
	外見について	みんなで同じものを使うことを指定されること
		制服での登下校（８人）（ジャージ可で良いのでは、部活動がある場合は運動着での下校を認めて欲しい、バスや電車の待ち時間として図書館を制服で利用できた方が良い、制服は式典のある時だけで充分）
		服装、服装のルール（６人）（制服の中にジャージ着用、衣替え）
		髪型、髪長さの指定する校則（３人）
		制服に関する（無意味な）ルール（２人）
		体操着着用のルール（２人）（移動教室の時はジャージになる？のはなぜなのか？本当に必要なのかよく分からないので、理由を教えてください）
		制服とジャージに着替える回数の多さ（２人）
		登下校、校内における服装の自由(制服、体操服どちらでもよいことにしてほしい)祭典や行事、旅行だけ合わせればよいのではない
		制服やかばん、体操着は最低限のルールだけ決めて、できるだけ自由な方がよいと思う。
		制服の自由度をあともう少し緩めてほしい
		教室での着替え
		女子の髪の件についてです。色の黒指定はわかりますが、シュシュくらいは可にして頂ければと思います。
		お化粧が許されるのなら、髪型もカットくらいなら自由にしてもいいのでは。アシンメトリーやライン。
	持ち物について	子どもからは特に聞いておらずですが、今の軽井沢町の状況だと、公共交通機関が使用しにくいこともあり、スマホは電源オフで、持たせるのは時代の流れではないでしょうか？
		教師が生徒に対するハラスメントに類する事柄は避けるべきではありますが、生徒が教師に対して逆ハラスメントするような事があってはならないですし、指導しても一切効果がない生徒は排除を検討すべきです(生徒の中での風紀を乱すような子に合わせるような事は不要と思います)
	校内での約束	学校見学(高校)の際に一度申し込んだら訂正不可能な事(通常の社会では間違いや訂正はできるのに、不思議な事に高校見学の訂正ができなかった事。)
		自転車通学で記入する宣誓書？
	校外での約束	友達の家泊まり禁止（もしくは根拠を生徒に説明してほしい）
「その他」	学校全体	昭和から変わらない古い体質では通用しない、
		意見が本当に反映される一緒に作る学校になってほしい。聞くだけ聞いて理屈や理由を付けては変わらないのはもういいかなと。
	その他	PTA活動、支部（２人）
		必要以上の親の送り迎え。

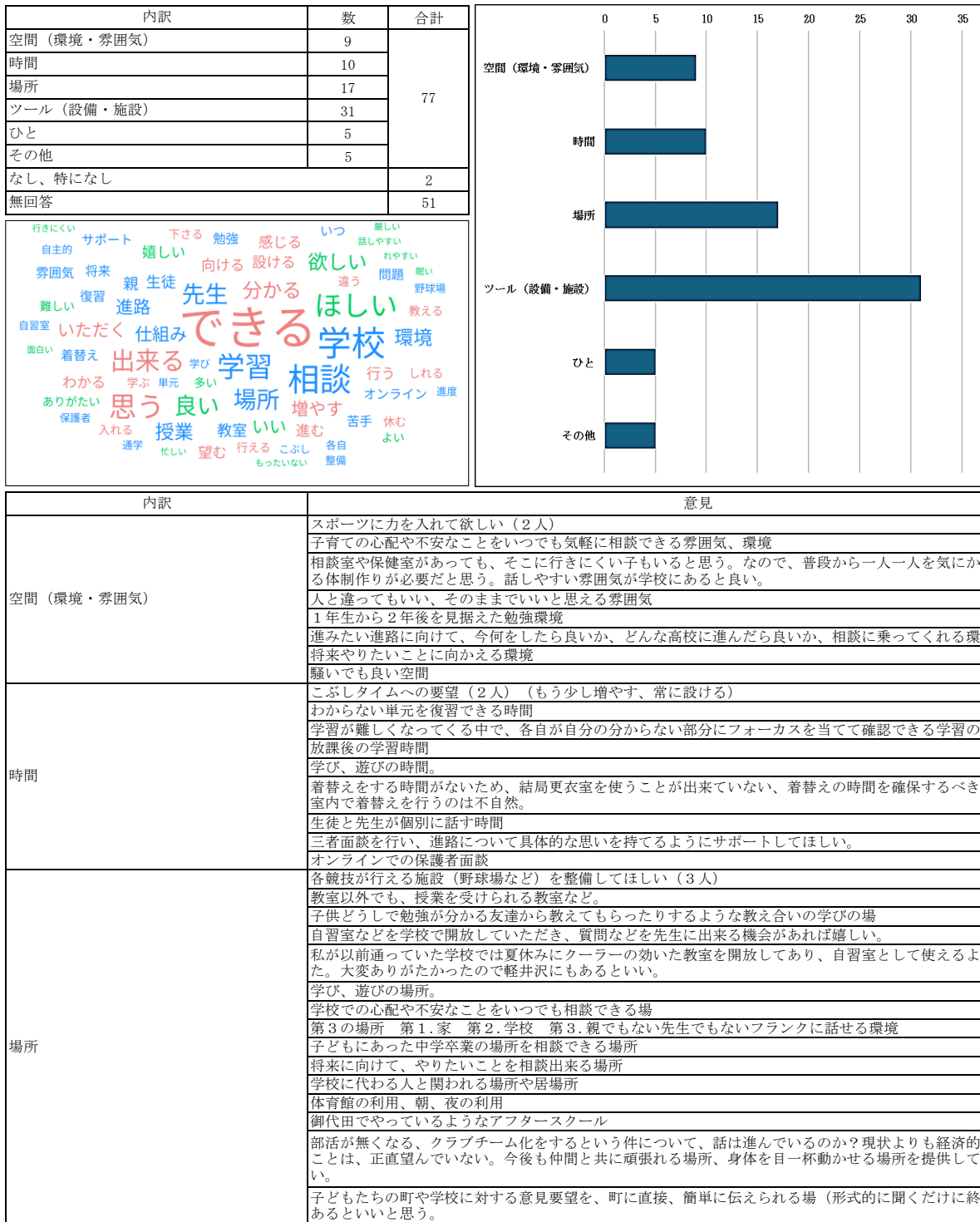


学校文化やルール	個性を大切にしつつも、互いの良さを尊重し合える環境を作ると同時に、配慮し過ぎて何が正解か分からなくならないようしっかりとしたルール作りも必要だと感じる。
	私服オッケー
	制服やカバン、ジャージ等を自由にしてほしい。制服は選択制を希望。
	夏場は、式ごとが無い日は制服は不要にして欲しい。体操着登校をしても、制服を持ち歩くのは荷物だから。
	先生と話す時タメ口で話したり、手を上げずに授業中しゃべり出すのを参観日でよく目にするが、話し方や授業中の態度はそのまま社会に出た時に関わるのでしっかりマナーやルールを守る指導をお願いしたい。
	給食自由化、お弁当でもオッケー
	願わくばバス通にしてほしい
	部活が合わなかった場合、変更しやすいシステム
	学校の施設を、夕方や休みの日も使えるようにしてほしい
こんな場所があると良い	地域と合同の施設（安平町参考にして下さい）（2人）
	将来やりたいことに応じて、高校選び、学習方法を相談できる場所
学校づくり全体	登校日や登校時間を減らしていく（2人）（半日登校）
	自主性
	勉強ができるできないに関係なく、誰もがバカにされない学校
	間違えるのは恥ずかしくないという雰囲気を作る
	様々な子がいるので大変だとは思いますが、みんなが安心して過ごせる学校になると良い。困っていること、不安を抱えている子に配慮するためには40人に担任一人ではやりきれないと思う。副担任の先生、学年の先生ともできるだけ共有して、学年全体を学年の先生で把握できるとよいと思う。
	現状、中学校の役割は、「高校受験に備える場」という意味合いがあまりに強いと感じている。先生や友だちとの関係性の中で、「お互いの個性を評価し合える場」「自分らしさを楽しめる場」である側面が広がっていくといいと思う。小学校～中学校～高校で、その考え方が途切れないように、それぞれの年代で過ごす学校のあり方や受験のあり方を全体的に見直して欲しい。
	校舎が最先端なら教育内容や校則も時代に合わせて新しくすべき。
	学校の風通しを良くすること
	それは、未来をつくる子どもたちの中にその答えがあると思うから、ワタシ達はそれを信じてあげることが大事だと思う。
	子供たちが考えることを実践していき、保護者は経過を見守るのがいいな、と。反対意見ではなく、まずはやってみることを支持するのがいいな、と思っている。
	子供たちの意見をもっと聞いてあげて、それが反映できるように叶えてあげることができる学校作り
	私たちの学校であれば、生徒本人や今の小学生(アンケートとってくれているみたいですが)に聞いてほしい。親の意見はいらないと思う。それぞれがかなり偏っていると思うから。
	新しくできるオープンドアスクールだけでなく、町の子どもたちみんなが、それぞれに多様な学びが保障されるように、今の学校の在り方、先生たちの子どもたちへの対応などを見直してほしい。子どもたちの学校」になるように、子どもたちの声（声に出せない声も）を真摯に聞いてほしい。
	教員の外部教育研修などに、もっとお金を使うべき。
その他	質問がふわっとし過ぎてて趣旨が分からない。まず公立学校の先生にちゃんと残業代を払ってあげてほしい。

問6 もっとあればいいと思うサポートや支援等（空間・時間・場所・ツール）を記入してください。

【回答の傾向】

・学習についてのサポートや支援を求める声が多くを占めている。



ツール（設備・施設）	公共交通機関やスクールバスの充実（もしくは自転車専用道路）（５人）
	分からない単元や分野をもう一度学習できる（３人）
	教科担任は教えっぱなしではなく学習の定着までをしっかりと欲しい（補講する機会を設けるなど）（３人）
	学校へ登校できなくても、オンライン（動画）で授業を見られる仕組み（３人）
	進度別学習（３人）（英語と数学、勉強のできる子はもっと難しいことができ、苦手な子が劣等感を感じず、学べるシステム、プロの観点から可能性や興味を拡げていただきたい）
	塾へ行かないでも学習内容の理解が深まると良い（２人）
	各自に貸与されているタブレットで宿題や復習が出来るような仕組み（２人）
	宿題や補習のサポート（２人）（部活があると出席できない？）
	ひとりひとり得手不得手は違うので、苦手なことでも底上げ出来るようなサポートがあるといい。
	全国的に見てどのあたりの成績なのか、わかるような何かがあればよいと思う。
	休んだ日の授業を自主的にでも学習できる仕組み
	授業中に寝ていた、と聞くこともある。もちろん、寝ないで頑張ることが一番だが、眠くならない、目が覚めるよう面白いと感じる授業時間になるとさらによいと思う。
	学用品は購入以外の選択肢を設けてほしい。そのためだけに購入するけど、その後一生使うことはないものがほとんどなので、校内メルカリみたいな制度とかリユース、リサイクルの循環が生まれるといい。
	中学はホームページがないので、学校の様子がよく分からない。小学生程のお知らせは求めないが、学校の生活の情報が知れると嬉しい(プライバシーの問題など、今は厳しいのかもしれないですね…)。
	相談したい時に１週間以内に予約ができる仕組み(親も子も)
	不登校児の昼食支援。
ひと	英語だけでなく海外や外部からの専門的な指導者を増やすべき。
	将来に向けて、やりたいことを相談出来る人材
	時代の流れだとは思いますが、先生方がまったく注意しないのが気になる。学校のルール（校則）を守れない生徒を叱らない事で生活の乱れを感じる。周りに流されやすい年齢なのできちんと注意して頂きたい。
	多くは望まないが、先生のレベルをある程度揃えてほしい。差があり過ぎる。
	子供が相談したくても進路相談の先生がいなく困っている。進路相談の先生の人数を増やして下さい。保護者がいつでも進路相談が出来る環境をもっと作って下さい。
その他	クラス別での行事など。クラスが苦手な子には苦痛かもしれない。
	教師、生徒、親、皆人間として尊重し合えると良い。
	先生方が忙しそうで質問しづらい。
	今行われている「私たちの学校」や「オープンドアスクール」の議論を一過性のもので終わらせてしまっはもったいない。こどもの権利まで含め、これからの学校のあり方を条例化することを望む。
	わからない。今でも頑張っていたらいいと思う。

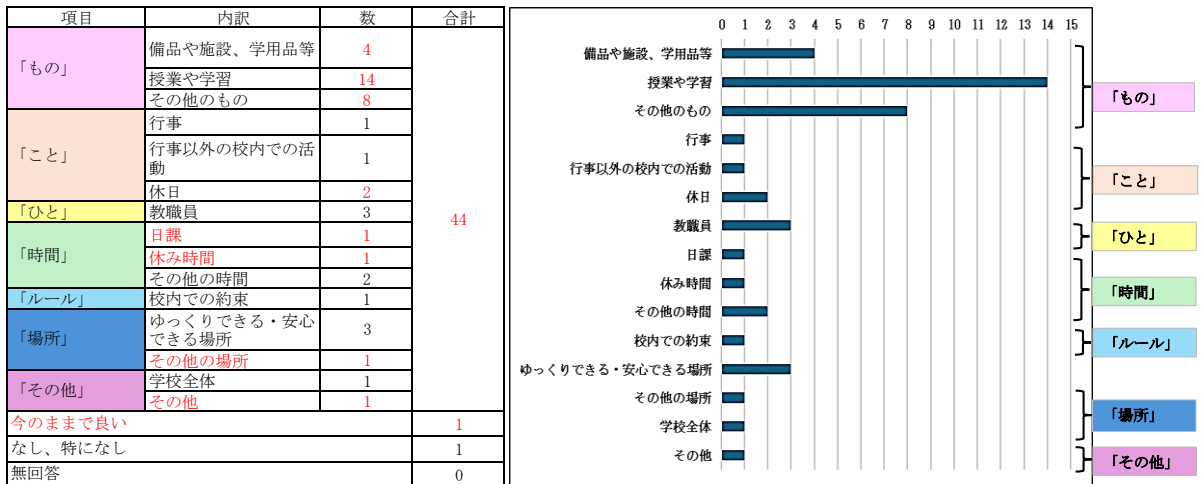
## 【資料 2－4】

### 教育支援センター利用者、スクールサポーター（SS）等との面談実施者（小学生10人、中学生10人）

問3 学校に今あるものや、今はないけど今後あったらいいと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

#### 【回答の傾向】

「もの」	自分のペースで学習できる授業や、自分の興味のもてる内容での学習についての要望が多くを占めている。
「こと」	行事の内容や活動の選択、休日についての要望である。
「ひと」	接しやすい教職員についての要望が全てを占めている。
「時間」	日課全体、休み時間、給食の時間やゆっくり休める時間についての要望である。
「ルール」	休み時間の過ごし方についての要望である。
「場所」	静かに休める場所についての要望が多くを占めている。
「その他」	平和な学校や、教職員がリラックスできる環境を求める意見である。

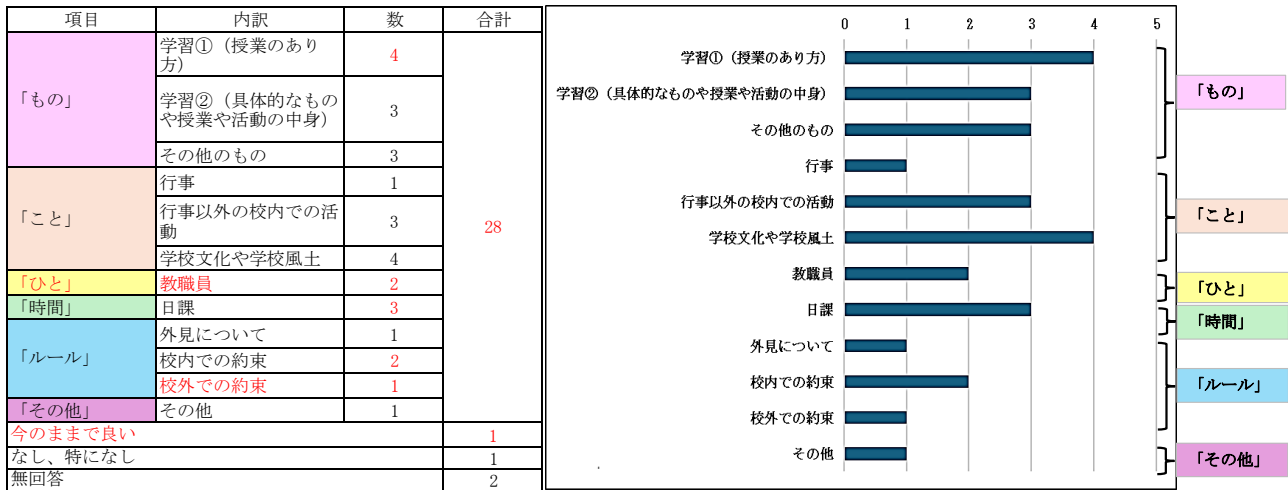


項目	内訳	意見
「もの」	備品や施設、学用品等	iPadを学校全体で使えるようにしてほしい
		広い机
		かたくない椅子
	授業や学習	広いロッカー
		ゆっくり勉強ができる授業（2人）（ペースが早すぎるので、自分の時間で学べるといい）
		授業をゆっくり教えてほしい
		ゲームの中で授業をする（タブレット・PCを使って）
		受けられれば何でもいい（英語以外で）
		iPadで絵をかける授業
		体育で野球やりたい。
		先生の話ばかりじゃない授業→自分も色々できたらいい
		たんぼほいいな
		今あるもので、個人一人ひとりのことを考えて、授業等自分のペースでできていること
	一人ひとりが学ぶ内容が違う方がいい。みんな違うから。	
	自分が知りたいことを勉強したい。自分が学びたいことを授業でやってほしい。	
	クラスはあってもいいけど、その場所をホームにして、自分のレベルに合った授業を受けるシステムがいい。	
教室を出ていかせない面白い授業をしてほしい。		
その他のもの	ゲーム（ゲームを学校に持ってきていい）（2人）	
	ぬいぐるみ、テレビ、お菓子もっていく（ちゃんとマナーは守るので）（2人）	
	自分が好きなものや落ち着くものを学校に持って行ってもいいことにしてほしい	
	給食に寿司があるといい	
	給食ではなく弁当がいい	
おやつ		
「こと」	行事	文化祭で屋台があるといい
	行事以外の校内での活動	やりたい事とやりたくない事を選択できるといい
	休日	月曜日は学校はない方がいい（2人）
「ひと」	教職員	おもしろい先生（2人）
		のりがいい先生
「時間」	日課	自分の今日の勉強（学びや課題）が終わったら、自由に帰宅したい。決められた時間に決められた学習をするより、早く終われば帰るみたいなの…。
	休み時間	休み時間が5分や10分は（休めないで）嫌だ。休憩が欲しい。
	その他の時間	給食の時間もう少し伸ばした方がいいと思います。はいぜんをする人をあせらせると、より遅れにもつながるし、時間をかけたら残さず全て食べられるという人もいます。なので給食の時、給食を食べはじめまでの時間をのばした方がいいと思いました。
		昼寝の時間
「ルール」	校内での約束	休み時間は好きなゲームができる
「場所」	ゆっくりできる・安心できる場所	休める場所（今の学校ではそういう所がない）
		寝る場所
		静かな場所（うるさい人がいない場所）
		その他の場所
「その他」	学校全体	平和な学校
	その他	先生がリラックスできる環境（補足：「先生たちも忙しい大変なので」という前置きの後の発言）

問4 学校にないほうがいいと思うもの（こと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

【回答の傾向】

「もの」	受け身の授業や、テストについての回答が大半を占めている。
「こと」	行事や、縦割り（他学年との交流）活動についての回答や、同調圧力についての回答が半数ほどを占めている。
「ひと」	教職員の態度についての回答である。
「時間」	休み時間や6時間授業、授業時間についての回答である。
「ルール」	全て、ルールの厳しさについての回答である。
「その他」	登下校についての意見である。



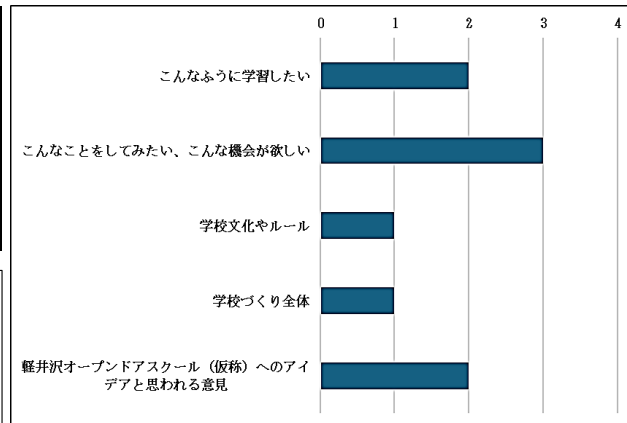
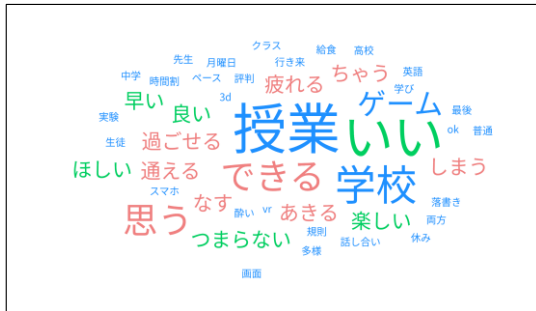
項目	内訳	意見
「もの」	学習①（授業のあり方）	座ってるだけの授業
		ずっと座って話を聞くだけの授業はあまり良くないと思います。もっと色々なことをするべきだと思います。
		しゃべりたくないときしゃべる（補足：「みんなが手を挙げていたから手を挙げる→あてられる、のこらしいです」）
		飽きる授業はやめてほしい。
	学習②（具体的なものや授業や活動の中身）	英語の授業
		テスト 再々テスト
その他のもの	制服	
	ゆうれい（友達がみたことあるって、トイレで）	
	トイレのにおい	
「こと」	行事	〇〇祭がめんどくさい（準備、みんなでやるのも大変）
	行事以外の校内での活動	縦割り給食と縦割り掃除
		校長先生の長い話
		給食（弁当がいい）
	学校文化や学校風土	同じことをしなくちゃいけない感じ（2人）
		となりの人に点をかいてもらう
あたりまえ		
「ひと」	教職員	怒鳴って怒るのはやめてほしい。普通に「ダメでしょ」と言えば分かる。 気分や感情で先生の態度が変わるのが嫌。ブチ切れないでほしい。
「時間」	日課	2時間目休み（15分あるが、移動時間があるため短くなってしまう）
		6時間は長い
		授業が45分は長い。
「ルール」	外見について	スカートの長さの指定
	校内での約束	時間にきびしすぎる ペットボトル禁止
	校外での約束	買い食い禁止の校則（夏の下校中等、熱中症や脱水症の危険性）
「その他」	その他	歩いていくのが大変

問 5 その他、「私たちの学校」をつくっていくために、何かアイデアや意見があれば記入してください。  
いくつでも可。

【回答の傾向】

・自分の興味のもてる内容や、自分のペースを大切に学習したいという意見等が見られる。

内訳	数	合計
こんなふうに学習したい	2	9
こんなことをしてみたい、こんな機会が欲しい	3	
学校文化やルール	1	
学校づくり全体	1	
軽井沢オープンダスクール（仮称）へのアイデアと思われる意見	2	
なし、特になし		4
無回答		5



内訳	意見
こんなふうに学習したい	授業が楽しいといい。実験とか、実際に自分でできる授業がいい。（先生の話ばかりだとあきて最後落書きしちゃう→つまらない） ゲームで授業するなら何がいいか…VRとか。（3Dだと画面酔いしてしまう人があるかも）
こんなことをしてみたい、こんな機会が欲しい	ゲームやりたい（みんなで、クラス中でやりたい） 生徒たちだけの話し合いがもっとあったらより良い学校になると思います。 月曜日は休みの方がいい
学校文化やルール	スマホOKとか、高校みたいな規則。
学校づくり全体	英語をなしにしたら評判がよくなると思う。
軽井沢オープンダスクール（仮称）へのアイデアと思われる意見	多様な学びの学校と普通の中学の両方通える（行き来）できるようにしてほしい。 ゆっくりとしたペース（時間割、授業、給食）で過ごせる学校があるといい。今のは早くで疲れる。

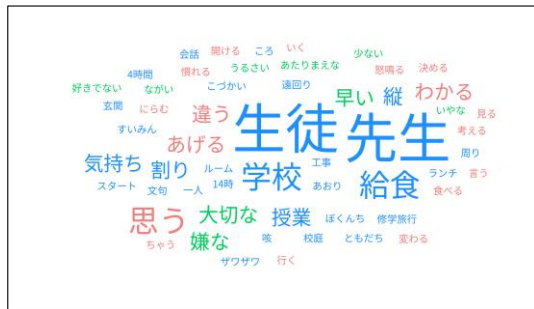
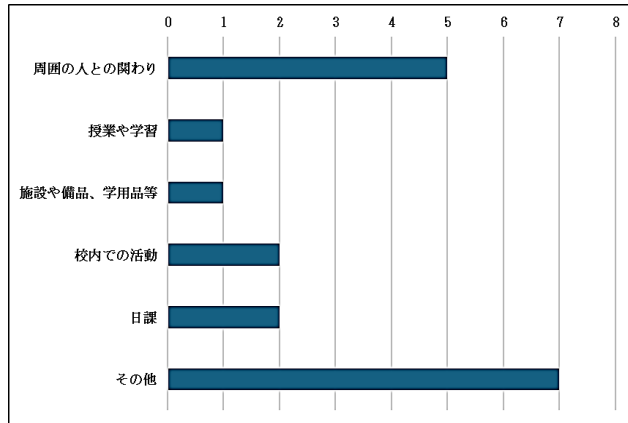


問6 みなさんが学校や日常生活などで感じているなやみ事や、こまっていることがあれば記入してください。  
いくつでも可。

【回答の傾向】

・他学年との関わりや、自分のペースを保てないこと等が悩みにつながっていることがうかがえる。

内訳	数	合計
周囲の人との関わり	5	18
授業や学習	1	
施設や備品、学用品等	1	
校内での活動	2	
日課	2	
その他	7	
なし、特になし		1
無回答		4



内訳	意見
周囲の人との関わり	あおり
	みんながうるさい（給食の時）
	みんなが見てくる（咳とかするとにらんできて笑う）
	ともだちにみられるのがはずかしい（補足：登校時（休み時間）、と話していました。遊んでいる子に見られたいくないようです）
	先生と生徒の会話について、授業中や授業以外でも、先生が生徒の気持ちをもう少しわかってあげるとするのが大切だと思います。もちろん、先生が生徒に怒鳴るのも違うし、生徒が先生に文句を言うのも違うと思います。なので、先生も生徒も相手の気持ちをしっかりわかってあげるとするのはあらためて大切だなと思いました。
授業や学習	ながい（学校の時間）すぐ夜になっちゃう、14時ころがいい
施設や備品、学用品等	学校を工事してるから、遠回りして学校に行くのがいやだ。（校庭玄関も開けてほしい）
校内での活動	縦割りが嫌（苦手） ランチルームで給食食べるのが嫌（縦割り、ザワザワしている）
日課	朝の時間（スタート）が早すぎる。 4時間の後に給食なのが困る（補足：おなかすいちゃう。早く帰りたいので、おやつ時間よりはこっちがいい）
その他	修学旅行のおこづかいが少ない。 「あたりまえ」がいいや いつも変わる事が好きじゃないかも。（慣れていない事はあまりしたくない） 自分でちゃんと考えて決めていきたいのに、早すぎる。 一人での時間が少し少ない気がする。 ぼくんちの周りに友達や店がない すいみん時間

令和 7 年（2025 年） 9 月 22 日

第 4 回軽井沢オーブンドアスクール（仮称）設置準備会議

## 「私たちの学校」をつくるアンケートについて（まとめ）

### 1 アンケート項目（児童生徒用）

1 回答するあなたについての質問です。

問 1 あなたの学校を教えてください。

問 2 あなたの学年を教えてください。

2 あなたをふくめて、だれもが自分らしく、まわりの人と学びあう学校であるために、「どうしたらいいか」の質問です。

問 3 学校に今あるものや、今はないけど今後あったらいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

問 4 学校にないほうがいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

問 5 その他、「私たちの学校」をつくっていくために、何かアイデアや意見があれば記入してください。いくつでも可。

問 6 みなさんが学校や日常生活等で感じているなやみ事や、こまっていることがあれば記入してください。いくつでも可。

### 2 アンケート項目（保護者用）

1 お子さまについての質問です。

問 1 お子さまの学校を教えてください。

問 2 お子さまの学年を教えてください。

2 お子さまを含めて、だれもが自分らしく、まわりの人と学びあう学校であるために、「どうしたらいいか」の質問です。

問 3 学校に今あるものや、今はないけど今後あったらいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

問 4 学校にないほうがいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

問 5 その他、「私たちの学校」をつくっていくために、何かアイデアや意見があれば記入してください。いくつでも可。

3 保護者として、学校や教育委員会に望むことについてお聞きます。

問 6 もっとあればいいと思うサポートや支援等（空間・時間・場所・ツール）を記入してください。

### 3 アンケート結果一覧（概要）

		小学校児童	中学校生徒	小学校保護者	中学校保護者	教育支援センター利用児童生徒・ スクールサポーター等による個別面談 実施児童生徒
問 3	主 な 意 見	<b>【もの(授業や学習)】</b> ・自分のペースで学べる授業  <b>【こと(行事)】</b> ・遠足の回数を増やす  <b>【時間(仲間と交流できる時間、自由な時間)】</b> ・休み時間や交流できる時間を増やす  <b>【場所(ゆっくりできる・安心できる場所)】</b> ・ゆっくりできる居場所	<b>【もの(授業や学習)】</b> ・自分のペースで学べる授業  <b>【こと(行事)】</b> ・校外学習の充実  <b>【時間(仲間と交流できる時間、自由な時間)】</b> ・仲間ともっとゆっくりできる時間  <b>【場所(ゆっくりできる・安心できる場所)】</b> ・ゆっくりできる居場所	<b>【もの(授業や学習)】</b> ・自分のペースで学べる授業  <b>【こと(行事)】</b> ・運動会の充実	<b>【もの(授業や学習)】</b> ・自分のペースやレベルに合った授業  <b>【こと(行事以外の校内での活動)】</b> ・交流活動の充実	<b>【もの(授業や学習)】</b> ・ゆっくり勉強ができる授業  <b>【こと(行事以外の校内での活動)】</b> ・やりたい事とやりたくない事を選択できる  <b>【ひと(教職員)】</b> ・おもしろい先生  <b>【時間(日課)】</b> ・自分の今日の勉強(学びや課題)が終わったら、自由に帰宅したい  <b>【ルール(校内での約束)】</b> ・休み時間は好きなゲームができる  <b>【場所(ゆっくりできる・安心できる場所)】</b> ・休める場所
問 4	主 な 意 見	<b>【もの(授業のあり方)】</b> ・受け身の授業  <b>【こと(人権的な問題)】</b> ・みんなの前で怒られること  <b>【ルール(外見について)】</b> ・髪型や髪色、服装の指定	<b>【ルール(外見について)】</b> ・服装等を指定すること  <b>【もの(授業のあり方)】</b> ・受け身の授業  <b>【こと(人権的な問題)】</b> ・みんなの前で怒られること	<b>【こと(学校文化や学校風土)】</b> ・皆が同じことをしなければならぬ雰囲気  <b>【もの(授業のあり方)】</b> ・受け身の授業	<b>【ルール(外見について)】</b> ・制服での登下校  <b>【こと(学校文化や学校風土)】</b> ・皆が同じことをしなければならぬ雰囲気	<b>【もの(学習①授業のあり方)】</b> ・座ってるだけの授業  <b>【こと(学校文化や学校風土)】</b> ・同じことをしなくちゃいけない感じ  <b>【ひと(教職員)】</b> ・怒鳴って怒るのはやめてほしい  <b>【時間(日課)】</b> ・6時間は長い  <b>【ルール(校内での約束)】</b> ・ペットボトル禁止
問 5	主 な 意 見	<b>【こんなことをしてみたい・こんな機会が欲しい】</b> ・イベントや交流の充実  <b>【学校づくり全体】</b> ・一人ひとりの意思や意見の尊重 ・いじめや差別がない	<b>【こんな時間が欲しい】</b> ・休み時間を増やす  <b>【学校文化やルール】</b> ・校則(服装等)を今より自由に  <b>【学校づくり全体】</b> ・意見の出しやすさや反映のされやすさ	<b>【こんなこと(機会)があると良い】</b> ・交流活動の充実  <b>【学校づくり全体】</b> ・保護者の学校の活動への活動への参加や協力	<b>【こんなふうに学習できると良い】</b> ・ICTの活用 ・先生の選択  <b>【学校づくり全体】</b> ・登校日や登校時間を減らす	<b>【こんなふうに学習したい】</b> ・授業が楽しいといい。実験とか、実際に自分でできる授業がいい(先生の話をしっかりだとして最後落書きしちゃう→つまらない)  <b>【こんなことをしてみたい・こんな機会が欲しい】</b> ・ゲームやりたい ・生徒達だけの話し合いがもっとあったら良い ・月曜日は休みの方がいい  <b>【学校文化やルール】</b> ・スマホOKとか、高校みたいな規則  <b>【学校づくり全体】</b> ・英語をなしにしたら評判がよくなると思う  <b>【軽井沢オープンドアスクール(仮称)へのアイデアと思われる意見】</b> ・多様な学びの学校と普通の中学の両方通える(行き来)できるようにしてほしい ・ゆっくりとしたペースで過ごせる学校があるといい
問 6	主 な 意 見	<b>【周囲の人との関わり】</b> ・いじめに関すること ・人間関係全般  <b>【授業や学習】</b> ・学校の時間が長すぎる	<b>【周囲の人との関わり】</b> ・クラスの人への不満 ・人間関係全般  <b>【授業や学習】</b> ・授業についていけない、学習への不安	<b>【場所】</b> ・困った時に相談や交流ができる場所  <b>【ツール(設備・支援)】</b> ・分からない単元や分野をもう一度復習できる	<b>【ツール(設備・施設)】</b> ・公共交通機関やスクールバスの充実  <b>【場所】</b> ・各競技が行える施設(野球場等)の整備	<b>【周囲の人との関わり】</b> ・あおり ・人の視線 ・先生と生徒が互いの気持ちを理解する  <b>【授業や学習】</b> ・ながい(学校の時間)すぐ夜になっちゃう、14時ころがいい  <b>【施設や備品、学用品等】</b> ・学校を工事してるから、遠回りして学校に行くのがいやだ  <b>【校内での活動】</b> ・縦割り活動が嫌(苦手)  <b>【日課】</b> ・朝のスタートが早すぎる  <b>【その他】</b> ・「当たり前」が嫌 ・いつも変わることが好きじゃないかも

# 【資料 3－1】

令和 7 年（2025 年） 9 月 22 日  
第 4 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 資料

## 「私たちの学校」をつくるワークショップについて

令和 7 年 9 月 22 日現在

	対象者	期日	方法	テーマ	今後の実施予定
学 校 内	東部小学校児童	2 学期中	調整中	調整中	複数回実施
	中部小学校児童	2 学期中	調整中	調整中	複数回実施
	西部小学校児童 詳細：【資料 3－2】	7 月 15 日 7 月 22 日	5 年生のクラスごと、車座でのトーク	誰もが楽しく通える学校はどんな学校か	複数回実施
	軽井沢中学校生徒	6 月 25 日	全学級同時	授業のあり方	複数回実施
学 校 外	※下記対象者  (8 月 22 日は、児童・生徒のみ) 詳細：【資料 3－3】	7 月 8 日	グループ別トーク	申込時の希望テーマを踏まえて決定	検討中
		8 月 22 日	教育支援センターにてテーマトーク	7 つのテーマからルーレット方式で決定	複数回実施
	町民・町外者	9 月 22 日	フォーラム	軽井沢町の教育に期待すること	来年度実施予定

※の対象者：

- (1) 学校に行きたいと思っても、行きづらかったり、欠席が多かったりする児童・生徒とその保護者
- (2) 発達障害の診断もしくは疑いがあり、学校への行きにくさや過ごしづらさのある児童・生徒とその保護者
- (3) スクールサポーター（SS）に不登校や発達障害について相談したことのある児童・生徒とその保護者

上記のワークショップで出た意見等については、1 月の設置準備会議にてまとめて報告予定。

## 【資料3－2】

令和7年（2025年）9月22日

第4回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 資料

### ワークショップ結果報告（軽井沢西部小学校）

#### 1 実施概要

- (1) 実施日：5年松組 令和7年7月15日（火）  
5年竹組 令和7年7月22日（火） ※今後も数回実施予定
- (2) 実施方法：5年生2クラスを、日にちを変えて実施。  
授業1時間分を活用し、テーマに沿って車座で自由に意見だしを行う形で話し合い。
- (3) テーマ：アンケートより抽出し、下記の内容とした。  
「誰もが楽しく通える学校はどんな学校か」
- (4) 進行方法：椅子を円形に配置し、クラス会議という形式にて子ども主体で実施。テーマについて各自考える時間を設け、その後順番に発言していった。

#### 2 意見の概要

- (1) 全体の意見の傾向  
自分で学びたい授業を選ぶ等、選択制授業を希望する意見が多くあった。  
一方で、選択制になることで授業のバランスが悪くなることや、義務教育だから学ぶ必要がある授業についての意見もあった。
- (2) クラス別の意見の傾向
  - ①松組：一人ひとりのペースに合わせた授業や授業時間を短縮することへの希望等が多かった。  
話し合いの後半では、理由を深掘する姿も見受けられた。
  - ②竹組：遊べる部屋など、設置してほしい部屋等について意見や、落ち着ける場所・一人になれる場所などを希望する声、給食を選べる・好きな人と食べられることへの希望についての意見が多かった。

※その他の意見については現在とりまとめ中。



松組の様子



竹組の様子

## 【資料3－3】

### ワークショップ結果報告（こどもだけワークショップ）

#### 1 実施概要

(1) 実施日：令和7年8月22日（金） ※今後も数回実施予定

(2) 実施方法：教育支援センターにて実施。

職員が事前に選考した下記のテーマをルーレットにいれ、でたテーマに沿って意見交換・共有を行った。

(3) テーマ：アンケート等の結果より、下記の通り選定

学校ってどんなところ、友達関係、時間割の希望、今の学校への意見、こんな学校だったら通いやすい、中学校でやってみたいこと、教育支援センターってどんなところ？

(4) 進行方法：ルーレットを子どもたちが回し、出たテーマについて意見交換・共有を行った。

意見については、メインファシリテーターの小林、堀本が、それぞれの意見を聞きつつ、深堀したいところについてはクローズドクエスチョンにて聞き取りを行った。

(5) 参加者：合計6名（うち5名は支援センター利用者）

#### 2 話し合いの雰囲気・意見の概要

(1) 雰囲気：お菓子や飲み物等を用意し、フランクな場づくりを意識したため、席を移動したり、姿勢を変えたりしつつ、自由に意見を言い合っていた。

また、他の参加者の意見へ共感・触発された意見も出ていた。

(2) 意見の概要：現状の学校について、怒り方の改善や授業の進め方の希望、あったらいいと思うもの・こと・場所についての意見が多く出された。

また、今の学校に抱いている印象についても聞くことができた。

授業時数については、今の時数の多さに驚きつつ、極端に減らすことや特定の科目を増やすことは難しいだろうという意見が出た。

※その他の意見については  
現在とりまとめ中。



当日の様子

# 【資料 4－1】

令和 7 年（2025 年） 9 月 22 日  
第 4 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 資料

## 軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置場所について

＜第 3 回設置準備会議資料＞

### 1 設置形態

（第 1 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 スクールコンセプトより抜粋）

- ・「学びの多様化学校」と「夜間中学」を併設した新たな学びの場
- ・軽井沢町立軽井沢中学校の分校として設置

### 2 設置場所選定にあたっての視点

1. 町内の既存公共施設（必要な範囲で改修等を行い使用）  
（第 1 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 スクールコンセプトより抜粋）
2. 教室、図書館、保健室、職員室がすでにあるか、または新たに設置可能。
3. 運動場・体育館が近隣で利用可能。
4. 中学生が安全に自力で通学可能。
5. 本校以外の場所。

### 3 候補地の比較

		軽井沢高校	軽井沢東部小学校	軽井沢町植物園展示館
基本 情報	開校（竣工）年	1948年（昭和23年） ※現校舎は1980年 （昭和55年）から	1956年（昭和31年） ※現校舎は1984年 （昭和59年）から	2000年（平成12年） ※2013年（平成25年）までは 「軽井沢オリンピック記念 館」として使用
	現校舎の築年数 （令和 7 年 4 月 1 日 現在）	45年	41年	25年
	児童数（生徒数） （令和 7 年 4 月 1 日 現在）	162人	128人	
	現状で転用可能な 空き教室	4 教室程度	1 教室程度	
	位置	【資料 4－2】①	【資料 4－2】②	【資料 4－2】③
	校地（敷地）面積	35,195平方メートル	35,095平方メートル	283平方メートル
視 点	1	○	△	△
	2	○	△	×
	3	○	○	△
	4	○	○	△
	5	○	○	○

参考：軽井沢駅（JR・私鉄しなの鉄道）～中軽井沢駅（私鉄しなの鉄道）

4km（車で約 10 分 徒歩約 55 分）

軽井沢駅（JR・私鉄しなの鉄道）～軽井沢町役場

3.7km（車で約 8 分 徒歩約 50 分）

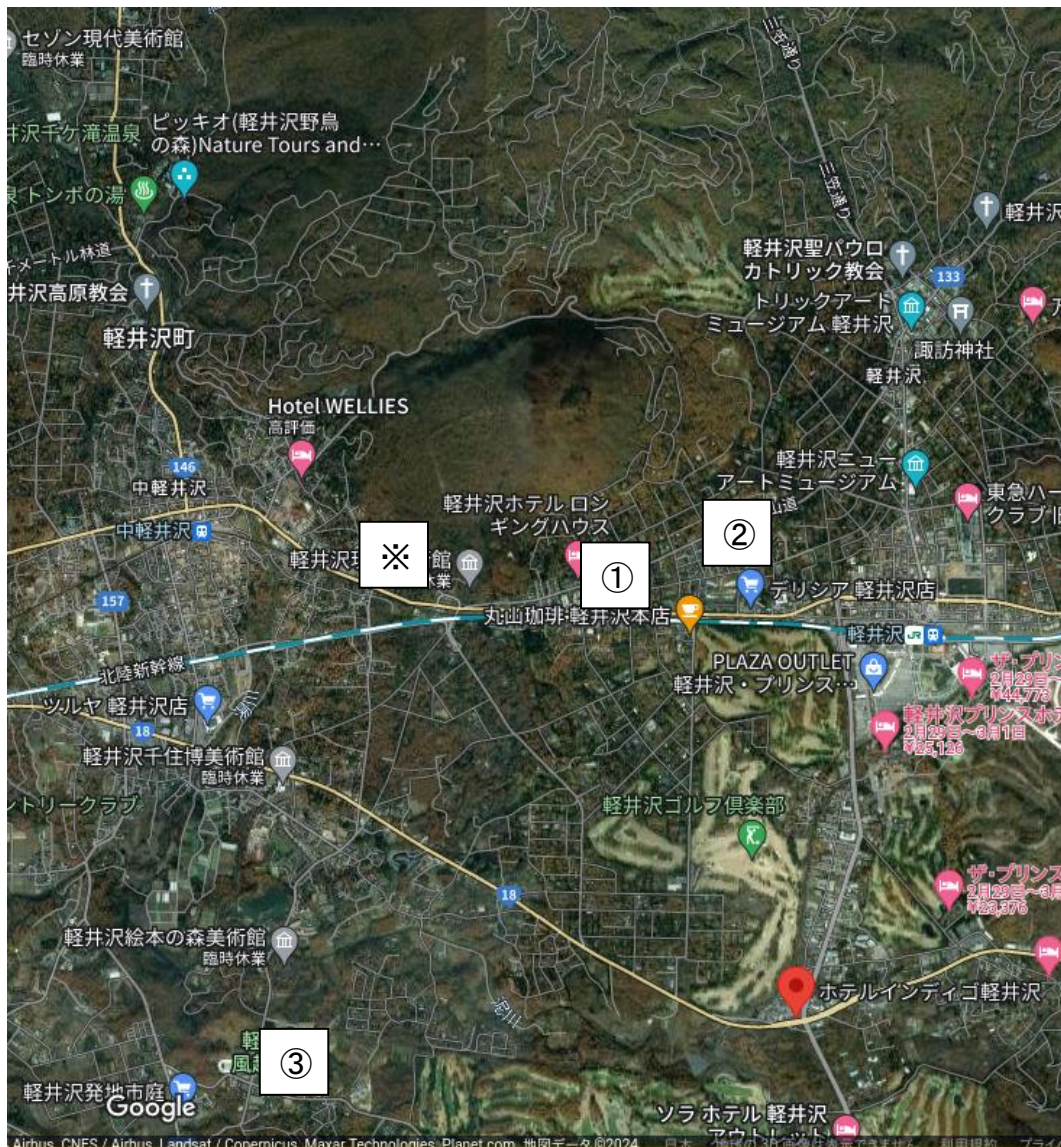


## 【資料４－２】

令和 7 年（2025 年） 9 月 22 日

第 4 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 資料

### 候補地（①～③）および軽井沢中学校（※）の位置図



①軽井沢高校

②軽井沢東部小学校

③軽井沢町植物園展示館

※軽井沢中学校（参考）



# 【資料 5－1】

令和 7 年（2025 年）9 月 22 日

第 4 回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議 資料

## 軽井沢オープンドアスクール（仮称） スクールコンセプト（イメージ）

- ・学校に通えないなどの理由により、学校生活において様々な学びを十分に享受できていない学齢期の子どもたちや外国籍・外国由来の人たち、十分に享受できなかった学齢経過者が集い、教員や支援員など信頼できる大人とともに、それぞれのペースや空間で安心して学び、成長を実感できるインクルーシブでフレキシブルな学びの場を創造
- ・加えて既存の公立学校が子どもたちや保護者にとって、より魅力的な学びの場となるよう、設置するオープンドアスクールの理念や仕組み、学校文化や学校風土などの特長を積極的に導入

### 1 設置形態

- ・「学びの多様化学校」と「夜間中学」を併設した新たな学びの場
- ・軽井沢町立軽井沢中学校の分校として設置

### 2 対象生徒

- ・様々な事情で学校への登校が困難な生徒（不登校の子どもたち）
  - 軽井沢中学校在籍者（又は在籍予定者）を想定
- ・中学校形式卒業者や中学校未就学者（学齢経過者）
- ・日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍又は外国由来の方
  - 今後検討

### 3 設置場所

- ・町内の既存公共施設（必要な範囲で改修等を行い使用）

### 4 学びの姿

- ・自分のペースで学ぶ
- ・自分らしさを大切にしながら学ぶ
- ・自分の決めた方法で学ぶ
- ・体験的に学ぶ
- ・自分に合った時間帯で学ぶ
- ・多様な人とまじりあって学ぶ
- ・自分の学びたいことを多く学ぶ
- ・探究的に学ぶ

### 5 生活の姿

- ・ありのままでいられる場所
- ・くつろいだり遊んだりできる場所
- ・必要なことは自分たちで話し合って決定
- ・安心できる居場所
- ・十分に対話や雑談をする時間
- ・周囲に頼れる大人の存在

### 6 教職員

- ・展開される学びの姿や生活の姿を保障できる教員、ともに学び成長できる教員、管理的だったり上から目線ではない教員（教員研修の充実）
- ・教員に加えて S C（スクールカウンセラー）、S S W（スクールソーシャルワーカー）、特別支援教育支援員、S S（スクールサポーター）やボランティアなど

### 7 地域との連携

- 例
- ・体験的な学びや探究的な学び（軽井沢学）に関わる大人との交流
  - ・探究的な学びや部活動等課外活動に関わる高校生との交流

<以上、第 1 回設置準備会議資料より>

## 【資料 5－2】

### 「軽井沢オープンドアスクール（仮称）スクールコンセプト（イメージ）」に関わる 意見・質問と事務局対応

R7. 9. 22時点

項目	内容	委員の皆様からの意見・質問	事務局の対応
1 設置形態	・ 軽井沢町立軽井沢中学校の分校として設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分校の場合、校長、事務職員、用務が本校との兼務になるが、勤務時間の関係で難しい。そのため、単独校で良いのではないか。</li> <li>・ 本校型もしくは分校型の、義務教育学校型が良いのではないか。小学校と中学校どちらの教員もいるため、色々なニーズを持った児童生徒に対応できる。不登校の児童生徒数の割合が全国と比較して大きいので、小学校段階からオープンドアスクールで学べるようし、多様な大人とともに学べるのは良い効果が生まれると思う。</li> <li>・ 小学生が同じ校舎の中で学ぶ中学生の姿を見て、中学校の年齢になったら学びの多様化学校に通おうと思う。中学に入り卒業したら、同じ学びの多様化学校のある校舎の中で、居場所に通いながらオンラインで通信教育を受けながら高校卒業する。中学校の前後の場をつくることで、学びを継続して大学に行く、あるいは自立するという形もあるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校型と分校型の違いを再度整理し、最終的な設置形態を決定していく。</li> <li>・ 現時点では中学校のみを設置し、今後の状況によって他校種についても検討していく。</li> </ul>
2 対象生徒	・ 様々な事情で学校への登校が困難な生徒（不登校の子どもたち）→軽井沢中学校在籍者（又は在籍予定者）を想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立の学びの多様化学校については、設置自治体外からの通学ができない。軽井沢町ではどのように考えているか（スクールバスの運行も含めて）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びの多様化学校に通学する生徒は、現時点では町内の中学生のみを想定している。ただし、併設する夜間中学については、近隣の市町村からの受け入れも視野に入れ検討していきたい。</li> </ul>
3 設置場所	・ 町内の既存公共施設（必要な範囲で改修等を行い使用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒がまた登校したいと思えるよう、大規模な改修が必要と思われる。例えば風越公園オリンピック記念館を少し改修すれば、運動場も体育館も風越公園にある。</li> <li>・ チャイムや先輩の存在等が、オープンドアスクールに登校する生徒にとってどう影響するのかは十分検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒にとってより良い学びの場となるよう、改修等の環境整備を行っていく。</li> </ul>

項目	内容	委員の皆様からの意見・質問	事務局の対応
4 学びの姿	・自分のペースで学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に関して、自分の好きなところからまずやりたい、自分のやり方で勉強したいという子どもたち（不登校の子どもたち）が来ているという実例がある。</li> <li>・学習のあり方をもう一度見直したほうが良い。教師主導で、本時のゴールや見通しが分からず、不安を感じている児童がいるということを感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数で、個々の興味関心や習熟度に応じて学習を進めることを想定する。</li> </ul>
	・自分に合った時間帯で学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間中学が教育支援センターのような位置づけで現役の中学生に開かれている例もある（体験入学を経て、納得がいけば転籍となる）。それも視野に入れて設置準備を進めてはどうか。</li> <li>・現役の中学生が夜間中学に通えるようにする場合、在籍は原籍校とし、教育支援センターのような位置づけになっていくのか。そのような制度として考えていくのか、どこかで議論した方が良い。</li> <li>・NPO法人カタリバが足立区立第四中学校の夜間学級で現役中学生の不登校生徒の支援をしており、効果は実証されている。現役の中学生が通える可能性は残してもらいたい。三重県では学びの多様化学校と夜間中学それぞれに昼間部と夜間部両方を設置している。そこに教育支援センターのような機能を加えることで、フレキシブルなしくみになるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のような点も参考に、学びの多様化学校と夜間中学の併設の利点を生かし、生徒にとってより自分に合った学びができるよう検討していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・働いている方にとって、夜間中学 16:00登校は不可能である。登校時間を17:30に遅らせ、下校時間は公共交通機関のあるぎりぎりの時間にしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間設定については、学びの多様化学校と夜間中学併設の利点を生かせるよう、先進事例や町内の実情を勘案し、引き続き検討していく。</li> </ul>

項目	内容	委員の皆様からの意見・質問	事務局の対応
5 生活の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の発達特性を取り除くことはできないが、環境を整えることはできる。どうしたらそういう生徒が通える環境になるかを、従来の枠にとらわれず考えていく必要がある（遅刻をとらないなど）。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の意見を取り入れながら、多様な人が年齢や国籍等を超えて学び合えるような環境を整備していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありのままにいられる場所</li> <li>・ 安心できる居場所</li> <li>・ くつろいだり遊んだりできる場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの居場所づくりを進めるなかで、子どもたちにどんな居場所がいかを聞いたときに出てくる答えと対応するようなアンケート結果である。</li> <li>・ 椅子や机、照明、靴等について、既存の学校とどう差別化していくかの細かな環境設定が必要。備品だけでなく教職員やルール（遅刻をとらない等）も含めた丁寧な制度設計が必要。</li> <li>・ 具体的な場面に身を置きながら、自分に合った環境を確かめたり、自分と他者の感覚が違うことを知る機会があったりすると、他者とどう共生するかの対話につながるのではないかと。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要なのは自分たちで話し合っ決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールや校則はゼロベースで始めるべき。これだけはルールとして作って欲しいというところから始まらない限り、既存の学校と変わらない。</li> <li>・ 既存のルールや校則をなくすことはショックを伴う。それを想定しながらなくすことが大切では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に関するルールや校則以外はない状態でスタートし、よりよい学校生活を送るために必要な事柄については、入学後に生徒と教職員で話し合っ決定していく形を考えていく。</li> </ul>
6 教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展開される学びの姿や生徒の姿を保障できる教員、ともに学び成長できる教員、管理的だったり上から目線ではない教員（教員研修の充実）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生がみんなの前で怒ることが嫌だという児童生徒の意見が印象的である。教員が当たり前に行っていることも、教員と子どもたちの間には意識の差があることは気を付けたい。</li> <li>・ 教員は「指導は一瞬で暴力に変わる」ことを自覚し、指導を捨て、環境をつくる必要がある。</li> <li>・ 「指導」をやめ、どのように子どもたちを「支援」していかなければならないのかという視点も必要ではないか。</li> <li>・ 設備や制度が良くても、働いている教職員の理解がないとうまくいかない。管理者も含めて、どういう教職員を配置するのが最も重要。</li> <li>・ 校則は大人が子どもを管理する手段である。大人がどれだけ子どもを信頼するという覚悟を決められるかが大事。</li> <li>・ オープンドアスクールに関わる学校教員向けのワークショップが何よりも大事。どんな思いで、何を大事に、どのように子どもを信じたオープンダスクールを作るのかという議論（合意形成）が尽くされない根本が崩れるのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開校前は、長野県教育委員会とも教職員の配置等について相談していく。開校後は、職員研修等により、教職員間の対話を充実させる。さらに、既存の公立学校が、生徒や保護者にとってより魅力的な学びの場となるよう、町内の教職員合同研修等でオープンダスクールの実践から学び合う機会を設けていきたいと考えている。</li> </ul>